

令和2年度

あんじょう
未来ミーティング
～With高校生～

【当初開催日】

令和2年
12月28日
月曜日

新型コロナウイルス感染症による
中止に代わる書面開催

安城市議会

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。

わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、この憲章を定めます。

わたくしたちは、

＊たがいに助け合い、

住みよいまちをつくりましょう。

＊きまりを守り、

良い習慣を育てましょう。

＊自然を愛し、

きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。

＊教養を高め、

若い力を育てましょう。

＊健康で、

明るく楽しい家庭をつくりましょう。

●安城市民憲章推進協議会●

昭和47年11月1日制定

目 次

はじめに	1
議長挨拶	2
あんじょう未来ミーティング～W i t h 高校生～概要	3
参加生徒名簿	4
【第1部】ラウンドテーブルディスカッション発言要旨	
・ Aグループ 「成年年齢18歳」について	5
・ Bグループ 「子育て」について	12
・ Cグループ 「アンフォーレ」について	18
・ Dグループ 「安城七夕まつり」について	25
【第2部】意見発表	33
ファシリテーター講評	61
あんじょう未来ミーティング～W i t h 高校生～を終えて	63
あとがき	64
巻末資料	65

はじめに



あんじょう未来ミーティング
ワーキンググループリーダー

二 村 守 議員

皆さん、コロナ禍での生活、いかがお過ごしでしょうか。

まず、令和元年から、「市議会だより」の表紙製作を市内の高等学校及び専修学校にお願いさせていただき、毎回、各校に特色ある表紙を飾っていただいておりますことに感謝を申し上げます。

その「市議会だより」をきっかけに、市議会と高校生との交流が始まったわけですが、そのご縁を大切に、若い世代の皆さんに議会をより身近に感じてもらうため、市議会初の試みとして、高校生との意見交換会を企画いたしました。

令和2年6月に「仮称）高校生との意見交換会を進める会」を開催し、『あんじょう未来ミーティング』という名称の決定とともに、十数名の市議会議員からなるワーキンググループ（WG）を発足させました。以降、18回のWGを行い、当日へ向けて協議を進めてまいりました。

参加者においては、市内学校からの選抜者に加えて一般公募も行い、計27名の生徒の皆さんの参加が決定し、準備を進めていただきました。

しかし、そんな準備もむなしく、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむを得ず中止という結果になってしまいました。我々としまでも、実際に生徒の皆さんの生の声を聴くことができず大変残念でありますとともに、生徒の皆さんに対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、このまま中止で終わるのは、生徒の皆さんの気持ちを考えるとなんともやり切れないという思いがWGメンバーの中に沸き上がり、何とかして皆さんの意見や思いを形にできないか協議を行いました。その結果、出来上がったのがこの冊子です。

寄せられた皆さんの原稿を拝読しましたが、高校生ならではの発想が多くあり、感銘を受けました。今後、皆さんにはますます政治に関心をもっていただき、市政や市議会に対して意見を発信していただきたいと思います。

今回、あんじょう未来ミーティングは残念ながら開催できませんでしたが、この取り組みが、皆さんが市政について考えるきっかけとなったのなら幸いです。

若い皆さんのこれからのご活躍を期待いたします。

議長挨拶



安城市議会

議長 おお や あき ひと
大 屋 明 仁

皆さんは、「市議会」というと、どういうイメージをお持ちですか？具体的に何を
しているところかご存知でしょうか？

私たちが生活している安城市を、もっと住みよいまちにするにはどうすればよいか
…。そのためには、市民みんなが自分たちで考え、話し合い、そして決められたこと
を自分たちの手で実行していくことが大切です。しかし、19万人の市民全員が集ま
って話し合いを行うことは困難ですから、市長と市議会議員を選挙で選び、その人た
ちが市民を代表して、みんなの願いを実現しようと施策や課題について話し合いま
す。その話し合いが行われる大切な機関が市議会であり、市議会は市民の意見をお聴
きし、十分に政策に反映させることが求められています。

安城市議会では、平成26年度に議会基本条例を策定し、議会活動に市民の意見を
反映させるため、必要に応じて市民との意見交換会等を開催することとしています。
その条例のもと、今年度、ぜひ若い方々の市に対する意見をお聴きしたいと企画した
のが、この「あんじょう未来ミーティング」です。12月28日の開催に向けて準備
を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、大変残念で
はありますが、中止を決定させていただきました。準備をされていた生徒の皆さんに
心からお詫び申し上げます。

本冊子に寄せていただいた高校生の方のご意見や思いを拝読させていただきました。
自分たちのまちをどうすればより良いまちにできるか、皆さん真剣に考えてい
ただいていて感動いたしました。高校生ならではの柔軟で斬新な発想の提案もあり、
私たち大人もハッとさせられました。きっと、このために色々調べたり、生徒さん同
士で話し合いをされたりしたのだらうと思います。寄稿していただいたご意見を、今
後市政に反映できるよう議会も努力してまいります。

私から1つお願いです。これまで20歳以上であった選挙権が、平成28年から1
8歳以上になりました。選挙の投票率は年齢層が下がるほど低下しています。若い皆
さんの意見を政治に反映するために、18歳になったらぜひ投票に行ってください
と思います。

最後になりますが、次世代を担う若い皆さんが今後ますますご活躍されますこと
と、今回のあんじょう未来ミーティングにご助力いただきました各学校の先生方をは
じめ、全ての関係者の皆様に御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

あんじょう未来ミーティング ～ W i t h 高校生～ 概要

新型コロナウイルス感染症の影響で、実際に開催することはできませんでしたが、
ミーティングの概要は、以下のとおりです。

主 催 安城市議会

目 的 高校生と市議会議員が直に触れ合い、安城市についての考えや意見を話し合うことにより、若い世代の方に市政及び市議会について関心をもってもらい、もっと議会を身近に感じてもらうため。

開催日時 令和2年12月28日（月） 午前9時～正午
（新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止）

参 加 者 市内の高等学校及び専修学校（全6校）より各4名を選出 計24名
市内在住の高校生を対象に一般公募 3名
安城市議会議員 28名
合計55名

内 容

第1部 ラウンドテーブルディスカッション

- ・4つのグループごとに分かれ、意見交換を行う。
- ・グループごとのテーマと、全グループ共通テーマの2テーマについて討議を行う。

【グループテーマ】

- | | |
|-----------|-----------|
| A 成年年齢18歳 | B 子育て |
| C アンフォーレ | D 安城七夕まつり |

【共通テーマ】

私が市長になったら・・・

第2部 意見発表

- ・議場にて、一人一人意見を発表する。
- ・発表内容は自由。第1部で話し合った内容やあんじょう未来ミーティングに参加した感想など。
どんなことでも良いので、自分の思いや意見を発表する。

参加生徒名簿

区分	学校名	氏名	学年	グループ
学校選抜	安城高等学校	すぎうら 杉浦 瑠生	2	A
		ひょうどう 兵藤 侑己	2	C
		みねき 嶺木 菜夏	1	D
		いわま 岩間 朱華	1	B
	安城東高等学校	あおやま 青山 遥香	2	B
		いそがい 磯貝 真珠渚	2	D
		すずき 鈴木 大生	2	C
		よしみ 吉見 安未	2	A
	安城南高等学校	おおやま 大山 颯汰	2	D
		つるた 鶴田 和士	2	C
		たけうち 竹内 陽乃華	2	B
		よしもと 吉本 りん	2	A
	安城農林高等学校	めんじょう 毛 受 茉莉子	2	A
		はなだ 花田 有菜	2	B
		おおむら 大村 優空	2	C
		おおひら 大平 桜羽	2	D
	安城学園高等学校	いしかわ 石川 里奈	1	C
		やまもと 山本 麻椰	1	A
		よこやま 横山 萌那	1	D
		さかぐち 坂口 華	1	B
	安城生活福祉高等専修学校	しぶや 澁谷 萌々華	3	A
		ちから 主税 凜	1	D
		かみもと 神本 宙志	2	B
		みなみ 南 めいの 芽衣乃	2	C
一般公募	光ヶ丘女子高等学校	いとう 伊藤 優衣子	2	A
	尾北高等学校	すぎうら 杉浦 杏	2	D
	知立東高等学校	てさき 手崎 晴菜	1	C

【第1部】

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨

【グループ名簿】

☆ ファシリテーター
★ 副ファシリテーター

グループ	氏 名	学校名	学年		氏 名	会場
A 成年年齢18歳について	すぎうら るい 杉浦 瑠生	安城高等学校	2	議員	☆ まつもと かえ 松本 佳栄	議 会 図 書 室 (5階) 全13名
	よし み あみ 吉見 安未	安城東高等学校	2		★ てらさわ まさし 寺沢 正嗣	
	よしもと りん 吉本 りん	安城南高等学校	2		にむら まもる 二村 守	
	めんじょう まこ 毛受 茉莉子	安城農林高等学校	2		つじやま ひでふみ 辻山 秀文	
	やまもと まや 山本 麻椰	安城学園高等学校	1		すずき ひろし 鈴木 浩	
	しぶや ももか 澁谷 萌々華	安城生活福祉高等専修学校	3		そう ふみよ 宗 文代	
	いとう ゆいこ 伊藤 優衣子	光ヶ丘女子高等学校	2			
B 子育てについて	いわま しゅか 岩間 朱華	安城高等学校	1	議員	☆ かみや きよたか 神谷 清隆	第1議会議室 (5階) 全13名
	あおやま はるか 青山 遥香	安城東高等学校	2		★ いしかわ つばさ 石川 翼	
	たけうち ひのか 竹内 陽乃華	安城南高等学校	2		のば よしのり 野場 慶徳	
	はなだ ゆうな 花田 有菜	安城農林高等学校	2		ふかつ おさむ 深津 修	
	さかぐち はな 坂口 華	安城学園高等学校	1		ほうふく ようこ 法福 洋子	
	かみもと ひろし 神本 宙志	安城生活福祉高等専修学校	2		いながき たいぞう 稲垣 退三	
					かみや かずあき 神谷 和明	
C アンフォールレについて	ひょうどう ゆうき 兵藤 侑己	安城高等学校	2	議員	☆ いしかわ ひろひで 石川 博英	委 員 会 室 (6階) 全14名
	すずき だい 鈴木 大生	安城東高等学校	2		★ こんどう ゆきお 近藤 之雄	
	つるた やまと 鶴田 和士	安城南高等学校	2		ながた あつし 永田 敦史	
	おおむら ゆうあ 大村 優空	安城農林高等学校	2		いまはら やすのり 今原 康徳	
	いしかわ りな 石川 里奈	安城学園高等学校	1		もりした さちこ 森下 祥子	
	みなみ めいの 南 芽衣乃	安城生活福祉高等専修学校	2		つかはら しんいち 塚原 信一	
	てさき はるな 手崎 晴菜	知立東高等学校	1		いしかわ いくこ 石川 郁子	
D 安城七タまつりについて	みねき なのか 嶺木 菜夏	安城高等学校	1	議員	☆ まつお まなき 松尾 学樹	第2議会議室 (6階) 全14名
	いそがい まりな 磯貝 真珠渚	安城東高等学校	2		★ くつな きよはる 沓名 喜代治	
	おおやま そうた 大山 颯汰	安城南高等学校	2		しらやま まつみ 白山 松美	
	おおひら さわ 大平 桜羽	安城農林高等学校	2		すぎやま ほがら 杉山 朗	
	よこやま もえな 横山 萌那	安城学園高等学校	1		いしかわ ひろお 石川 博雄	
	ちから りん 主税 凜	安城生活福祉高等専修学校	1		もりぐち しょうじ 守口 晶治	
	すぎうら あんず 杉浦 杏	尾北高等学校	2		しらや たかこ 白谷 隆子	

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【１】グループテーマ

『成年年齢１８歳』について



すぎうら る い
杉浦 瑠生

**安城高等学校
２年**

賛成

- ・世界では大多数が成年年齢１８歳であるため。日本人はモラルもあり、問題ないと思う。
- ・酒やたばこは２０歳からのため、健康面は配慮してある。
- ・少子高齢化により、若い力が必要なため。

【２】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

道路の舗装

安城高校近くのサイゼリヤやダイソーなどがある道路で歩道の段差にハンドルを取られて転ぶ生徒が続出している。また、狭かったり、雑草が生い茂っている所が多く危険なため改善したい。

安城(特に駅前)の発展

乗り降りの人口は多いのに、人の注意を引くような商店街になっていない。

→客層を把握し、注意を引くようにする。(学生や若者向けなど)

→フード、ファッションなどの特有な通りを設けるように働きかける。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【1】グループテーマ

『成年年齢18歳』について



よしみ あみ
吉見 安未

安城東高等学校
2年

成年年齢が18歳になることは、若者の政治的意識を変えることに少しでもつながると思います。

さらに、政治的な意識を向上させるだけでなく、若者の犯罪も抑制することが可能になるのではないかと考えました。

私は、ただ単に成年年齢を引き下げるだけでなく、前に述べた目的をより達成できるような政策を市独自に行ってもいいと思いました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、教育に力を入れて取り組み、活気あるまちを目指したいです。それを実現するために、具体的にやりたいことは2つあります。

1つ目は、学校の教材を新しいものにすること。2つ目は、安城市に住む外国人に対する教育に力を入れることです。教育に力を入れることで、優秀な若者を育てることができ、安城市や世界をよりよい方向に動かしていける人材が生まれ、市議会の枠を越えた素晴らしい活動が自発的に生まれる、自主性があるようになるのではないかと。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【１】グループテーマ

『成年年齢１８歳』について



よしもと

吉本 りん

安城南高等学校

２年

- ・ 未成年者取消権を使えなくなるため、悪徳商法や詐欺による被害が増える可能性があること。
- ・ 近年若者のSNS詐欺の被害が急増していること。
- ・ 契約云々の項目は変えないほうがいいと思うこと。
(成人したとしても、急に大人になれるわけではないので)

【２】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- ・ 学生の自転車の交通マナーの悪さが目立っている。
- ・ 愛知県の交通死亡事故率が高い
- ・ 自転車のながら運転の事故増加

交通指導員の人員を確保し、常に見守る体制をつくる。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【１】グループテーマ

『成年年齢１８歳』について



めんじょう ま こ
毛受 茉莉

**安城農林高等学校
２年**

私は、成年年齢を１８歳に引き下げるにあたってのメリット・デメリットを考えました。

まず、メリットは、選挙権を与えられる年齢が１８歳になるので政治に参加できることにより、国の政策への関心がより高まると同時に、「自分達を選んだ」という責任感も高まると思います。

デメリットは、「成人年齢が下がる＝飲酒・喫煙の年齢制限が下がる」と勘違いする人が出てきそうということと、今までの「２０歳で成人」というイメージが強くなることが予想されるため、精神的に未熟で「気持ち成人しきれていない」という人が増加すると思います。

【２】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

まず、「私が安城市に住むことになったら」という視点で考えたのは、子どもの医療費助成を満１８歳（高校卒業）までに引き上げたいです。これを行うことによって、若い世代の人口を増やしたいです。

そして、友人との会話の中で感じたことは、街灯の数が道路によって差が極端であったり、歩道や車道の緑地帯に雑草が多く生えていて景観を損なう道路があったりします。また、小さな子どもが利用する歩道の整備に力を入れたいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【1】グループテーマ

『成年年齢18歳』について



やまもと まや
山本 麻椰

**安城学園高等学校
1年**

2022年4月より成年年齢が18歳に引き下げられます。また、世界的にも、成年年齢を18歳に引き下げようという傾向にあります。

私たち高校生は、高校という枠組みの中でどうしても視野が狭くなりがちですが、成年年齢の引き下げにより、大人としての自覚が強くなり、早くから社会へ進出していけるのではないかという期待が膨らみます。

一方で、不安な点もあると思います。成年年齢の引き下げにより、親の同意なしに契約ができるようになりますが、高校生では責任を取れないような消費者トラブルなどは不安に感じます。また、成年年齢となると成人式を思いつきますが、18歳になる高校3年生は大学受験という大切な時期でもあるので、成人式を行う時期についてはよく検討するべきだと思いました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- ・商業施設を増やしたいと思います。

安城市には大型の商業施設が少ないと感じました。商業施設が増えることで、商店街の衰退などの問題もあると思いますが、服を買うために市外のショッピングセンターなどに出ている現状を考えると、商業施設を増やして市内に来る人を増やす方が商店街の活性化にもつながるのではないかと考えました。

- ・駅のホームに自動ドアを設置したいと思います。

電車通学をしていると、駅のホームから転落したり、線路に近づき過ぎて危険だと感じる場面を目にしました。そのような危険をなくすためにも、名古屋市の駅にあるような自動ドアが有効ではないかと考えました。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【1】グループテーマ

『成年年齢18歳』について



しぶや ももか
澁谷 萌々華

安城生活福祉高等専修学校

3年

18歳になることで、親の同意を得なくても、自分の意志で様々な契約ができるようになるので、トラブルや詐欺の被害が増加しそうだと思います。

飲酒・タバコも成人になってからとよく耳にしたり、そのように教えてもらったので、成年年齢が18歳に引き下げられたということは…、と勘違いしてしまう人がたくさん出てくると思います。

20歳になってから行う成人式も、もし18歳が成年年齢となったら受験シーズンに行くことになり、心配や反対の意見が多くなると思います。このことから成人式は全国统一で20歳にして欲しいと思いました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

現在日本は、世界でトップクラスの長寿国です。平均寿命は延びていますが、介護や人の助けを借りずに日常生活が送れる期間である健康寿命が平均寿命より10年短いです。長生きできても、約10年はベッドで寝たきりの状態となり、必ず介護が必要となります。少しでも健康に長生きできる人を増やすため、健康寿命を延ばしていける町づくりをしたいです。

そのため、筋力維持を目的とした取り組みを推奨するべきだと思います。例えば、ウォーキングやストレッチなど体を動かす機会を作るために、小学校や中学校と連携するのも1つの策だと考えます。このコロナ禍では難しいかもしれませんが、子供たちとお年寄りで交流し、筋力アップができるような体操をする時間もよいのではないのでしょうか？子供たちとお年寄りで楽しい時間が過ごせれば、町全体もより活性化されます。心も体も健康寿命が延びるようにしていけたらよいです。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Aグループ】

【1】グループテーマ

『成年年齢18歳』について



いとう ゆいこ
伊藤 優衣子

光ヶ丘女子高等学校
2年

賛成です。

私は現在17歳ですが、民法改正により2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わると、高校を卒業してすぐに新成人となります。成年になると親の同意がなくても、携帯電話やクレジットカードなど様々な契約ができるようになります。例えば県外の大学へ進学する際、一人暮らしの部屋を自分名義で借りることが可能になるのです。

ただ、高校を卒業したばかりで、収入もない未熟な自分が、このような契約に対して責任を負うことに不安な気持ちがあるのも事実です。

しかし、世界では7割以上の国が成年年齢を18歳としています。G7のフランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの中で成年年齢が20歳なのは日本だけです。他の国の若者たちが18歳になると大人として社会に参加しているのですから、私たち日本人もできるはずで、世界の多くの国と同様、日本も成年年齢を18歳にすることで、私たち若い世代が早くから責任感を持ち、社会に貢献していくべきだと思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

もし、私が安城市長になったら、小・中学生の英語教育の充実に力を入れたいと思います。私は今、岡崎市の光ヶ丘女子高等学校の国際教養科に通っています。学校では「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」ことを重視したカリキュラムで、環境問題、教育、差別、国際関係など、様々な分野を広い視野で見つめ、英語でディスカッションやプレゼンテーションをしています。

英語は私たちの世界を大きく広げてくれます。今後、自国だけでなく、グローバルな視点で国際情勢や環境問題などに取り組むことが、今まで以上に必要な時代になります。

もし、私が市長になったら、試験で点を取るための英語教育ではなく、国際化時代に向けたより実践的な英語教育を、小学校低学年から受けられる環境づくりに取り組みたいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Bグループ】

【1】グループテーマ

『子育て』について



いわま しゅか
岩間 朱華

**安城高等学校
1年**

私は、何か特別な対策というよりも、今の社会にある様々な偏見をなくした方がよいと思います。

例えば、家事イコール妻がやる、女性の育児休暇が取りづらくなっているなどです。安城市内での子育て支援はたくさんしていらっしゃるので、子育てについての考え方を講演会やチラシなどで知らせる機会を作ればよいと思います。

考え方が家庭のみならず、地域でも浸透していけば、住民にとってとても住みやすい町であり、子育てしやすい町になるのではないかと思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私は、当たり前かもしれませんが市民に寄り添う市長になりたいです。

市民と言っても様々な方がみえますが、高齢者や父子・母子家庭や子育て世代の家庭に焦点をあて、地方税を使い、どんな方でも住みやすく協力し合える安城市として全国に名を残したいと思います。

また、年に3回ほど市内特有の休みを作り、市民が自由に家族の時間などとして使えるようにできたらいいと考えています。笑顔で安心できる町づくりを目指したいです。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Bグループ】

【1】グループテーマ

『子育て』について



あおやま はるか
青山 遥香

**安城東高等学校
2年**

- ・子どもたちのふれあいの場を増加した方がよい。
- ・子育てをするお母さんたちの子育てについての相談をするところを設置する。
- ・安城市として、資金面でもサポートする。
- ・公共の場で、ベビーカーを使いやすくするために、スロープやエレベーターを増やす。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、まず子どもたちのふれあいの場所を増やしていきます。スマホが普及してきて、小さな子どもたちでもスマホを使うようになってきました。その結果、外で遊んだり、いろいろな子どもたちと話す機会が減ってきていると思います。そこで、交流のイベント等を行うことによって、安城市の子どもたちがより活発になると思います。

また、子育てをする親の不安を相談するなどの機会を設けます。子育てには不安な気持ちもあると思うので、少しでも親の心が楽になってほしいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨 【Bグループ】

【１】グループテーマ

『子育て』について



たけうち ひ の か
竹内 陽乃華

**安城南高等学校
2年**

- 男性の育児休暇を増やすこと
- 高校まで医療費の削減
- 働きたい女性のための託児所を増やすこと
- 男性の定時帰宅を増やすこと

【２】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- 見にくい信号機や古い信号機を新しくする
- 街灯を増やす
- 歩行者道を広くする
- 道路反射鏡の設置

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Bグループ】

【1】グループテーマ

『子育て』について



はなだ ゆうな
花田 有菜

**安城農林高等学校
2年**

安城市の子育てに対する政策を見ていると、6歳までの子どもに対する政策がたくさんあり、さまざまな方面から支えられているように感じた。しかし、小・中・高での支援がそれまでに比べると少なく感じた。

乳幼児のケアは、とても多く必要で面倒をみなければ死に至ってしまうようなことも起こる。従って、周りからの「助け」をたくさん必要とするが、小、中学生・高校生もデリケートな年頃で、乳幼児とは違った面でたくさんの手助けが必要だと思う。

子どもと保護者、周囲の人との人間関係が上手く築けるような支援をしていくべきだと思う。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私は、小学校6年生から中学校1年生まで、周りの人との関係が上手く築けずに学校へ行きづらくなったことがあった。そのことがきっかけで山村留学に行くことになった。

そこでは、自分たちの生活を1から「話し合い」を通して作っていくことを行った。その体験を通して、幸運にも自分自身を見つけることができた。周りの人との考え方の違いや共感する部分など人間関係の大切さ、難しさや、意見の違いを分かりあえた時の喜びを感じることができた。

この体験から、私が市長になったら学校に行けない子どものための施設を作ることと、市民が自治区の人同士で「話し合い」をしやすい環境づくりをしたい。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Bグループ】

【1】グループテーマ

『子育て』について



さかぐち はな
坂口 華

**安城学園高等学校
1年**

安城市には9つの児童センターがあり、他の市に比べて充実しているのではないかと思います。さらに、移動児童館という、児童センターのない地域に足を運び子どもたちと一緒に遊ぶサービスもあることを知りました。

児童センターがたくさんあることはとても嬉しいことですが、それでも児童センターが近くにならない子どもたちもいると思うので、移動児童館は、そんな地域の子どもたちも地域で交流できたり遊べるので、非常に良いサービスだと思いました。

しかし、安城市の移動児童館は月に2回、場所も2カ所しかないなので、この移動児童館をもっと活性化できたらいいと思いました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- ・ 駅にホームドアを設置したいと思います。

ホームドアは、名古屋駅などの地下鉄などに、転落や電車との接触事故防止のために設置されています。確かに地方の駅ではあまり設置されていませんが、近年、地下鉄だけでなく普段利用しているJRの駅でも転落などが発生しているので、ホームドアを設置したいと考えました。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Bグループ】

【1】グループテーマ

『子育て』について



かみもと ひろし
神本 宙志

安城生活福祉高等専修学校
2年

もし自分が子育てをする場合、どのようなことを気を付けたらいいのか、教育やしつけといったことは何をしてあげればいいのかなどを考えてみたいと思います。

まず、「子育て」とは何を目標としてするものなのでしょうか。自分は「子育て」とは、子供がその後の人生を幸せに生きるための方法を教えるということだと思っています。

しかし、ニュースでも虐待やネグレクトなど物騒な話をよく耳にします。このような環境で育った子供は、仮に大人になったとしてもトラウマになってしまったりして、幸せに生きているかという疑問が残る生き方になってしまうことがあります。そのような事態にならないように、いつか親になる自分たちが何をしていけばいいのかを深く考え、決して見捨てないことが大切だと思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

自分が市長になったら、幅広い年齢の多くの人の話を聞き、安心して安全な暮らしをおくれる市を目指したいと思います。そのためには、いろいろな人の話を聞き、求めているものを知るための場所が必要になると思います。

例えば、自分は今高校生です。授業や自主学習など、幅広く使用できるタブレットの提供と、それを活用できる学校のシステムがあると良いなと思っています。このような意見をどんな人でも自由に伝えることができ、その実現に向けてのプランを考えることができる施設や団体の設立が必要だと思います。

今はコロナでみんなが大変で不安な時期です。一人一人が感染しないような案を考えそれを吸収し導いていけるような、多くの人から信頼されるような市長になってみたいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



ひょうどう ゆう き
兵藤 侑己

**安城高等学校
2年**

アンフォーレは安城市にある公共施設で、大きな公共図書館や勉強スペースを完備していたり、さまざまなイベントや体験を行ったりしていて、幅広い世代に利用されています。

しかし、今のアンフォーレは「学生が勉強する場所」としての認識を持ちすぎているように感じます。

テスト週間になるとより多くの学生が来館し、本を読む人専用のスペースなのにそこで勉強をしていたりマナーを守っておらず、一般の方の利用の妨げになっているのではないかと思う場面を何度か見かけました。学生の意識を変えるのはもちろんのこと、勉強専用のスペースを増やしたり、今ある施設以外にも施設を増設することもありかと考えます。

また、本格的なイベントや体験を行っているのに参加者が少ないようにも見受けられるので、宣伝が足りないのかと感ずることがあります。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が安城市長になったら、できるだけ多くの市民の悩みや要望を聞き、それを実現していきたいです。そのために市内の各所（アンフォーレ、明祥プラザ、デンプーク、学校などの公共施設）に目安箱を設置し、意見を集めたいと思います。その意見は市内、市外在住者を問わず聞くことができればよいと考えます。

私が市外に住む友達に安城の問題点について聞くと、「車の運転が荒くて危ない」という声が多くあがりました。対策の1つとしては、警察の方々と協力して、徐行運転を促す運動をする期間を設けるなどしてみたいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



すずき だい
鈴木 大生

**安城東高等学校
2年**

自分は、アンフォーレに関して、各フロアにおけるごみ箱の設置を提案したいと考えます。

勉強した際に出た消しゴムのかすや、飲食をした際に出たごみを捨てる場所があれば、より快適に利用できるかと思います。

ごみ箱を設置することで、放置されるごみがでることも懸念されますが、入り口付近やトイレの前など、足を運びやすい場所に設置することで、より快適な環境を実現することができるかなと思います。

また、図書館だけでなく、外部の広場や入口などにも設置できればよいなと思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、他の市民も安城市に長くいられるような、より快適な町づくりを進めていきたいと考えています。

グループテーマで話したこととして、ごみ箱の設置がありますが、そのような既存の設備や市営の設備の改善に注力していきたいと思います。

ごみ箱の設置に加えて、市バスの停留所の改善も渴望されうる案件の1つかと思います。自分があるとよいと思えるインフラとして、各停留所の屋根が挙げられます。これらの基本インフラを充実させ、よりよい安城市を目指したいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【１】グループテーマ

『アンフォーレ』について



つるた やまと
鶴田 和士

**安城南高等学校
2年**

- 借りたい本などの意見を集めるアンケートボックスの設置
- 月ごとまたは年間の年齢別貸出しランキングの作成
- 予約席の時間の見直し

【２】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- アンフォーレの広場やデンパーク、競技場を活用したイベントを増やす。
- 不審者が多く出るところに街灯を設置する。
- 市民からの意見ボックスの設置。
- 保育園、幼稚園、小中学校等の給食費の補助。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



おおむら ゆう あ
大村 優空

**安城農林高等学校
2年**

私自身、アンフォーレを利用したことは、1度勉強をするために利用したときと、他に4回ほど休憩するために施設内を少し歩いただけですが、また訪れたいと思うような施設だと思います。

イベントや発表会などをしているという情報もよく耳にしたり、利用した際に、ハンドメイドの商品や団子などの食べ物を販売しているところも見たので、特に何もすることがないときに「ふらっと」立ち寄れるよい場所だと思います。

また、安城七夕まつりでは、たくさんのイベントやお店も出ていて、地域に寄り添っている感じがあってよいと思います。

しかし、学校帰りに勉強したいのですが、部活などで開館時間中に間に合わないのが、本館と同じように図書館も21時まで開いていたら良いと思います。商業施設のドミーも隣接していて駅から近く、とても利用しやすい便利な場所で、ぜひ私の家の近くにも同じような施設が欲しいと思っています。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が安城市長になったら、無料市営バスを作りたいことと、市民の各家庭や事業所などへ加湿器の配布をしたいです。

無料市営バスがあると、とても便利だと思います。少し、ショッピングや学校に用事があるときにとても使い勝手がよく、便利だと思います。実際に安城市で遊ぼうと思ったときに、バスの乗車賃がかかることが理由で取りやめたこともあり、学生、生徒の強い味方になってくれれば、経済に好影響を与えるのではないかと思います。

加湿器は、学校にないことに驚いていて、冬にストーブやエアコンをつけたときとても乾燥するので、1部屋に1台ずつ置くべきではないかと思います。今の時期は、インフルエンザに加え、コロナウイルスもあるため、流行を抑えるために設置はぜひ必要と考えます。設置をするのならよい機会だと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



いしかわ りな
石川 里奈

**安城学園高等学校
1年**

アンフォーレは、本がたくさんあることがとても魅力的です。私たち高校生がアンフォーレを利用する多くの理由として、自習スペースを使っの学習や、図書館を利用して勉強することが挙げられます。市外から安城市内に通う学生も、アンフォーレは勉強するところというイメージが強く、そこが1つの魅力だと思います。

なので、その魅力を生かして”学習”、”学べる場所”というのをポイントにしたイベントや教室を開けたら、もっと素敵な場所になると思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- ・学習へのサポートを強化したいです。

特に、今、感染症の影響で、授業がリモートになったりして教育格差が広がっています。学校によって対応に差があったりして、子どもたちも初めてのことに戸惑ったと思います。

また、コロナ禍でなかったとしても、子どもたちが普段の学校生活や学習を、もっと笑顔でワクワクしながら楽しめるようなサポートをしていきたいと思います。

例えば、普段学校ではできない、市民の方に講師になってもらう授業や、地域の人や団体と関わって一緒に課題を解決するような活動などを行うことです。他にも、学校外に学習スペースを作るなど、市全体で子どもたちの学習をサポートでき、また、その中で子どもたち自身が、自分たちで明るい未来をつくっていくための力を身につけられる環境を整えていきたいと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



みなみ めいの
南 芽衣乃

安城生活福祉高等専修学校
2年

私は「アンフォーレ」がどのような施設か分かりませんでした。その為、ホームページを見ている中で、図書館をメインとした建物であり、その他にもホールや多目的室があったり、公共のサービスが備わっていることを知りました。私はこのような施設が学校の近くにあることを知り、機会があればぜひ活用したいです。

図書情報館には、たくさんの本、たくさんの座席があり、自分の読みたい本をゆっくり落ち着いて読めるスペースがあります。また、除籍本があり、リユース本としておいていることを知り、地域を率先してものを大切にみつかう姿を素晴らしく思いました。

その他にも、アンフォーレ内には公園やスーパーマーケットやカルチャースクールがあり、地域の方々にとって日々の生活をしていく上で必要な施設であることを知りました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が安城市長になったら、市をより良くする為に、環境作りに取り組みたいと思います。市民の皆さんが住みやすい街づくり、環境といってもいろいろありますが、特に「商店街」に注目をしています。「今どき」を感じる施設やスポットも興味がありますが、昔ながらの商店街の復活を考えていきたいです。

地域の人たちが、商店街にあるお店を通じて交流を持っていけるような、人の笑顔があふれる商店街がいいと思います。これが、私が市長になったら考えることです。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Cグループ】

【1】グループテーマ

『アンフォーレ』について



てさき はる な
手崎 晴菜

**知立東高等学校
1年**

アンフォーレは、以前あった中央図書館とは違い、「地域交流を深める」ことを目的にした新しいカタチの施設です。

学習スペースは、誰でも自宅以外の学習空間として利用することができ、私もよく利用しています。また、大画面のモニターがあるロビーやイベントホール、広場や1階で開催されるイベントなど、人が集まれる場所として魅力ある施設だと思います。

1階のイベントの様子が伝わってきたり、BGMがかかるなど、和やかな雰囲気です。小さなお子さんを持つ方でも、気軽に立ち寄り利用することができます。

これまでと違う新しいカタチの施設を形成することはとても難しいことです。図書の貸し出しや学習のスペースと交流スペースの2つの機能を両立させ、どの世代の方にももう一度利用したいと思ってもらえるように、一体化させる工夫は、今後も考えていくべきだと思います。

単に本を借りるためだけの場所ではなくなり、地域交流を深めるという新しい施設の在り方に気づかされました。

これからの図書館の先進としてアンフォーレが発展し、愛知県を代表する施設となってくれるといいです。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、子育てしやすい街の形成を目指します。

避けられない少子高齢社会の現状、SNSでもっと若い世代に興味を持ってもらえるよう活用することで、若い世代の呼び込み、子育てしやすい街づくり形成に貢献したいです。

安城市の公式アカウントの現状を見ると、フォロワーが伸びておらず、そもそも投稿記事を目にする人が少ないのではと思いました。フォロワーの多い自治体のアカウントは、若い世代が興味を持つ投稿が多いように感じます。デンパークなどをはじめとするフォトスポットや、特産品などの色彩を意識し、若者の興味を惹くような投稿を行います。そのためには、老若男女問わず、広く安城市民からもっと多く意見や情報を集め、安城市をアピールしていきます。

活発なSNS情報発信で、若い世代を中心に多くの人に安城市を知ってもらい、地域交流活発な子育てしやすい街づくり形成を行います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



みねき なのか
嶺木 菜夏

**安城高等学校
1年**

良い所

- ・ゴミ箱ボランティア
- ・見回りボランティア
- ・熱中症対策
- ・盛り上がり

改善点

- ・迷子の対応
→LINEやホームページを活用して知らせる
- ・駅の混雑（他市から来る人など）
→バスで他の駅までの送迎をする、そのためのバス停の設置
- ・トイレの混雑
→商店街のお店のトイレを貸し出し、結果としてお店を知ってもらう

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

商店街を活性化したい。

○市が決めたコンセプトに沿って、各お店が飾りつけをする。

近くにあまり無料の駐車場がないため、電車やバスで来て歩きたくなるような商店街を目指す。

理由：活気づく、経済発展

良い点

- ・お店の個性が出る。
- ・華やかになると、興味をもってくれる人が増える。
- ・市が全て負担しなくてもよいので、資金面をあまり気にしなくてもよい。

悪い点

- ・お店ごとに差ができる。
- ・閉店してしまっている店のところは華やかさに欠ける。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



いそがい まり な
磯貝 真珠渚
安城東高等学校
2年

ごみ問題についての改善点
(ゴミ箱を増やすなど)

ごみ箱を大きな交差点だけでなく、屋台と屋台の間や空き地などにも設置したいです。そうすることで、ポイ捨てが減り、祭りのあと、道路が汚れることもなくなると思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、あんくるバスの本数を増やしたり、最終バスの時間を遅くして、市民が今までより利用しやすいようにしたいです。

また、暮らしやすく安全な街にするために道路整備も行いたいです。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



おおやま そうた
大山 颯汰

**安城南高等学校
2年**

- ・区域ごとに分け、人数制限をかけてコロナ禍でもイベント等を開催できるようにする。
- ・日数を増やして、人数を分散させる。
- ・チケットなどを作り安城市民限定にする。一日だけしかイベントに参加できないようにする。
- ・盆踊りや神輿など盛り上がる行事を増やす。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

- ①高校生の医療費を無償化する。
 - ・部活動などでの怪我で医療費が嵩むから。
 - ・高校生で医療費を払うことが難しい人もいるから。
- ②交通整備
 - ・ミラーや街灯の設置。
 - ・観光の場所やイベントなどを増やす。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



おおひら さわ
大平 桜羽

**安城農林高等学校
2年**

夏に多くの人が集まる安城七夕まつり。私も何度か行ったことがあります。私を含む多くの方は、どうして何度も足を運んでしまうのか。その理由を良い点と改善すべき点をあげて考えてみました。

理由として、七夕は花火や盆踊りにない楽しみがあり、幅広い年齢層でも楽しめる行事だと思います。そして、交通のアクセスが良いこと、色々なお店が並んでいることなどの点があげられると思います。会場がJR安城駅から直通なので、遠くからでも足を運びやすく、出店も今流行している食べ物が多く並んでいるので、年齢問わず、多くの人が集まると思います。

ただ、人が増えれば問題点も出てきます。例えば、ゴミのポイ捨てや、人同士の接触事故の多さが目立ちます。このような面でお祭りを楽しめていない人も少なくないはずです。

全ての人が楽しめるお祭りにするために、よい所は伸ばしつつ、問題点を改善していくべきだと私は考えます。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、安城を活性化させられるような施設を作りたいです。

安城市は、のどかで住みやすいという声をよく耳にします。しかし、一方で遊べる場所が少ないという声も耳にします。安城のよさを最大限生かし、なおかつ年齢問わず、楽しめるような場所を作りたいと考えました。

具体的には、イチジクやマクワウリを使用したジャム作り体験や、歴史が学べる体験型ゲーム、フリーマーケットなど、安城を知るだけでなく、地域の人々が気軽にコミュニケーションが取れるような施設にしたいです。

「人と人がつながり、協力し、助け合う」そういった市になれるように、この施設が第一線になるとよいし、「周りを豊かにする」、そんな市長になりたいです。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



よこやま もえな
横山 萌那

**安城学園高等学校
1年**

安城市民として、安城七夕まつりは毎年楽しみにしています。今年度は感染症の影響で中止になってしまい残念でしたが、来年度は開催されるのを楽しみにしています。また、「願いごと、日本一。」を目指す取り組みもとても良いと思います。

一方で、休憩場所を増やしてはどうかと思いました。日陰で休める場所がアンフォーレなどの一定の場所しかなく、暑い中でたくさん歩かなければいけないときがありました。屋台が並んでいるところにテントや椅子を設置したり、そのテントに願いごとの短冊を貼るなどして、休憩場所＋インスタ映えというのもおもしろいと思いました。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

・商店街に中・高・大学生のための勉強スペースを作りたいと思います。

アンフォーレで勉強したくても座る場所がなくてできないことがありました。また、そのような声を他の人からもよく聞きました。アンフォーレは、その目的が「中心市街地の賑わいの創出・活性化」であることから、勉強スペースをこれ以上確保するのは難しいのかなと思います。

そこで、商店街の空き家や、夜しか使っていないお店などを勉強スペースとして活用するのはどうかと考えました。勉強で利用した後に商店街のお店に寄り道するなど、商店街の活性化にもつながるのではないかと思います。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



ちから りん
主税 凜

安城生活福祉高等専修学校
1年

毎年開催されていた安城七夕まつりですが、行くたびに目につくことがあります。それは散らかったゴミです。しっかりとごみ箱、袋に入れていてもあふれてしまい、係の人とても大変だと思います。

事前に各屋台の間にごみ袋を設置したり、アンフォーレや路上以外の場所に飲食スペースを設置するのはどうでしょう。飲食スペースで屋台で買ったものを食べることで、ごみはその場で出ます。係の人1店に集中していたら片付けしやすいでしょう。屋台の間などに設置することで、その屋台の方に閉店後に1か所にもってきてもらうことで、散らかることを回避できると思います。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、イオンなどの大型ショッピングモールを作りたいです。理由は、私が住んでいる地域にはスーパーもコンビニありません。1番近いスーパーもコンビニも、車で約10分、自転車で約30分行かなくてははいけません。若者ならまだしも、地域にはご老人がたくさん住んでいます。唯一買い物できていたコンビニもなくなってしまい、「不便」という声をよく聞きます。

また、新型コロナウイルスにより、買いたいものが名古屋でないと無いという人が買いに行けない状態だったり、ご老人の方々は免許返納がすすめられています。近場に1つそのようなことが解決する場を作るのはいかがでしょう。

ラウンドテーブルディスカッション 発言要旨【Dグループ】

【1】グループテーマ

『安城七夕まつり』について



すぎうら あんず
杉浦 杏

**尾北高等学校
2年**

私は、安城七夕まつりをもっと盛り上げる為に、インスタ映えスポットの設置と七夕まつりの開催範囲の拡大を考えます。

まず、インスタ映えするスポットや建物を市内の何箇所かに設置し、若者の発信力を利用してSNS等で紹介してもらいます。そうすることによって、市内外を問わず若者が訪れたいと思ってもらえるようになると思います。まずは、普段から安城市へ興味を持ってもらうことが大切だと思います。

次に、開催範囲の拡大については、JR安城駅周辺だけでなく、市内各所でいろいろなイベントを開催したいです。名鉄線沿いの各駅やJRの三河安城駅、インスタ映えスポット周辺など範囲を広げ、1日だけでは回り切れない、そうしてもらうことで、周辺のホテルも観光客で賑わい、訪れる人が増えるのではないかと思います。範囲拡大は、今のコロナ禍の状況の中でも楽しめる、分散型の新しい七夕まつりに効果的だと考えます。

【2】共通テーマ『私が市長になったら・・・』

私が市長になったら、やりたいことが3つあります。

1つ目は、人が集まりやすいところを作ることです。若者向けにはアンフォーレ以外にも集まりやすい場所を作ると良いと思います。例えば、カフェ巡り用のマップを作り、近隣の市町等にも周知すれば、若者の興味を引き付けることができると思います。そうすることにより、市外からも訪れる人が増えると思います。

2つ目は、デンパークの活性化です。ドラマや映画のロケ地の招致、イルミネーションの範囲の拡大により、観光客が増え、集客率の増加が見込めると思います。また、道の駅に温泉を併設したり、屋内スポーツ施設等があれば、さらに訪れる人の年齢層の幅も広がると思います。

3つ目は、生涯安城市に安心して住んでもらうために、日常の買い物ルートの無料バスや町内を回るバスの本数を増やしたいです。カフェ巡りもそうですが、さらなる高齢化社会に対応していくために、高齢者が運転免許を自主返納しても、安心して日常生活が変わりなく出来る交通機関の確保が必要です。安城市内には大手企業もたくさんあるので、「生涯安心して住める街、安城」にするともっと居住者が増えると思います。

【第2部】

意見発表



【議席番号一覧】

50音順

	氏 名	ふりがな	学 校 名	学年	グループ
1	青山 遥香	あおやま はるか	安城東高等学校	2	B
2	石川 里奈	いしかわ りな	安城学園高等学校	1	C
3	磯貝 真珠渚	いそがい まりな	安城東高等学校	2	D
4	伊藤 優衣子	いとう ゆいこ	光ヶ丘女子高等学校	2	A
5	岩間 朱華	いわま しゅか	安城高等学校	1	B
6	大平 桜羽	おおひら さわ	安城農林高等学校	2	D
7	大村 優空	おおむら ゆうあ	安城農林高等学校	2	C
8	大山 颯汰	おおやま そうた	安城南高等学校	2	D
9	神本 宙志	かみもと ひろし	安城生活福祉高等専修学校	2	B
10	坂口 華	さかぐち はな	安城学園高等学校	1	B
11	澁谷 萌々華	しぶや ももか	安城生活福祉高等専修学校	3	A
12	杉浦 杏	すぎうら あんず	尾北高等学校	2	D
13	杉浦 瑠生	すぎうら るい	安城高等学校	2	A
14	鈴木 大生	すずき だい	安城東高等学校	2	C
15	竹内 陽乃華	たけうち ひのか	安城南高等学校	2	B
16	主税 凜	ちから りん	安城生活福祉高等専修学校	1	D
17	鶴田 和士	つるた やまと	安城南高等学校	2	C
18	手崎 晴菜	てさき はるな	知立東高等学校	1	C
19	花田 有菜	はなだ ゆうな	安城農林高等学校	2	B
20	兵藤 侑己	ひょうどう ゆうき	安城高等学校	2	C
21	南 芽衣乃	みなみ めいの	安城生活福祉高等専修学校	2	C
22	嶺木 菜夏	みねき なのか	安城高等学校	1	D
23	毛受 茉子	めんじょう まこ	安城農林高等学校	2	A
24	山本 麻椰	やまもと まや	安城学園高等学校	1	A
25	横山 萌那	よこやま もえな	安城学園高等学校	1	D
26	吉見 安未	よしみ あみ	安城東高等学校	2	A
27	吉本 りん	よしもと りん	安城南高等学校	2	A

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 1

安城東高等学校 2年 あおやま 青山 はるか 遥香

『将来の安城市のために』

安城市をより活発にするためには、年齢や性別関係なく、住みやすく親しみやすい街にするべきだと思います。

まず、幼い子供という視点から考えると、違う小学校区にある幼稚園、保育園などの子供たちとの交流の場をより増やしていくことが大切だと思います。たくさんの子供達と交流することで、自分と気が合う子と出会えたり、また、自分の周りの子が持っていない価値観を持っている子と出会うことができるので、いい経験になると思います。そしてより安城市の子供たちと親しむことができ、郷土愛も生まれると思います。

2つ目は、子育てをするお母さんやお父さんのサポートが必要だと思います。子育てはとても大変なことです。そこで、安城市としての子育てのサポートが充実していれば、子育てをする親御さんの負担が減り、住みやすくなると思います。例えば、子育てをする親御さんの子育てについての相談所をより多く設けたり、親御さん同士での交流を増やして悩みなどを共有する所を設けるなどがあります。

少しでもたくさんの地域の人達の心が楽になるようなサポートを増やしていけば、将来の安城市は、より住みやすく親しみやすい街になっていくと考えます。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 2

安城学園高等学校 1年 いしかわ りな 石川 里奈

『学びの輪』

私は安城学園高等学校の1年生で、学び探究部の部長を務めています。私はこれまでに、生徒会や学級代表といったグループのリーダーになることは多かったですが、この学び探究部の部長になり、リーダーとしての在り方を改めて考えさせられました。私が1番大切にしていたことは、毎日の部員みんなに対する声かけです。私自身の経験から、何かささいな一言でもその子の力になれるかもしれないと思った私は、毎日必ず部員一人一人に声をかけるようにしました。部員にとって部活が居心地の良い場所となるようにこれからも続けていきたいです。

学び探究部ではヤドカリを飼っています。環境破壊で生き物の住処がなくなっているという記事を読んだことから、自然のもの（貝殻）を住処としているヤドカリを飼ってみたいと思ったことがキッカケです。また、部長として部員みんなで1つのことをするのも良いと思い、ヤドカリを飼おうと部員に相談しました。餌やりなどの係を分担してみんなで世話をしたり、ヤドカリの新しいお家を探そうと部員みんなで海にも行ったりもしました。部員の中には水質汚染のことを調べている子もいて、実際に海の現状を見ることもできました。こうやって実際に現地に行ったり、体験したりできるのもこの部活の良いところです。これからも興味のあることをもっと深く調べ、多くのことを体験して学んでいきたいです。

私は、この学び探究部での探究活動で「楽しい授業を届けたい」と考えプロジェクトを立ち上げました。その中で、高校生が先生となって地域の小中学校に授業をしに行く、高校生出張授業というのを考えました。私自身、実際に中学校に授業をしに行くために、中学校の先生と相談をさせていただいています。授業内容を考えるのは大変でとても苦戦していますが、楽しい授業が届けられるように考えて頑張っています。もともと勉強が苦手だった私が、楽しんで学ぶことで苦手が好きに変わりました。また、できるようになるとそれが自信につながりました。このプロジェクトの授業が、自信を持てたり、何か夢中になれるものに出会ったり、新しい自分を発見できたりするキッカケになればいいと思います。

そこで私は、安城市と一緒にこの活動を広げていけないかと考えました。例えば、小中学生に向けた授業では、小中学校の授業の時間で実施するには大きな壁がありますが、安城市が中心になって広報をしてもらえたり、場所を借りたりして、学校外で実施できればこの活動も広げやすいと思いました。もっと学校外の地域社会と協力しながら進めることができれば、そこに学びの輪が広がり、それが市全体へ広がって良い相乗効果を生むのではないかと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **3**

安城東高等学校 2年 いそがい磯貝 まりな真珠渚

『安城市をより良い街にするために』

私が安城七夕まつりをより良いものにするために改善したいことは、ゴミ問題についてです。

私は、安城七夕まつりは大きな交差点などにはゴミ箱が設置されていたり、そのゴミ箱の前でボランティアの方々がゴミの分別を呼び掛けてくださったりと、しっかりゴミ問題に対して対策をしているなと思っていました。また、お祭りが終わった後も、きっとあまりゴミは散らかっていないのだろうなと思っていました。

しかし、安城市に住む友人から安城七夕まつりのゴミ問題について話を聞くと、お祭りの翌朝はポイ捨てされたゴミや、屋台から出た油などで道路はとても汚れているそうです。それが原因で、友人は素直にお祭りを楽しめないと言っていました。そこで、私は交差点やアンフォーレの近くなど人が多く立ち止まる場所だけではなく、屋台と屋台の間や、道路から少し外れていて人が立ち止まりやすい空き地などにもゴミ箱を設置したらどうかと思います。また、ゴミの分別も大切だと思うので、安城七夕まつりのチラシやお祭り中に流れる放送などでも、ゴミの分別を呼び掛けるようにしたいです。

「私が市長になったら」ですが、あんくるバスの本数を増やして利用しやすくし、最終便の時間を遅くしたいです。循環線以外の線だと約2時間に1本しか来ない線もあるので、バスの本数を増やすことで利用が増えるのではないかなと思うからです。また、歩行者のためのガードレールを作るなど道路整備も行い、暮らしやすい街にしたいです。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 4

光ヶ丘女子高等学校 2年 ^{いとう}伊藤 ^{ゆいこ}優衣子

『日本の英語教育におけるコミュニケーションの重要性』

私は今、岡崎市にある光ヶ丘女子高等学校の国際教養科に通っています。私の学校では「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」ことを重視し、英語を通して環境問題、教育、国際関係など、様々な分野を広い視野で見つめ、英語でのディスカッションやプレゼンテーションをしています。このようなアクティブ・ラーニング型の授業により、私たちは、主体的かつ積極的に英語学習に取り組み、新しい課題に気づき、それを解決する力を養っています。そして、私は将来、アクティブ・ラーニング型の授業ができる英語教員になることを目指しています。

私は、父の仕事の都合で、オーストラリア、カナダ、アメリカの3カ国で10年以上暮らした経験があります。最初の頃は英語が全くできなかったため、学校の授業は何ひとつ理解できず、友達はひとりもできませんでした。あの頃の孤独感、絶望感は今も忘れることができません。

私は、自らの経験から、英語が私たちの世界を大きく広げてくれることを誰よりも知っています。英語ができるようになることは、英語を介してしかコミュニケーションがとれない相手とわかりあえるようになることです。そして、そのコミュニケーションを通して、私たちは新しい居場所を手に入れ、新しく見えてくる世界があります。私自身も長い海外生活のなか、英語の上達とともに多くの知識を得て、広い視野で物事を見ることができるようになりました。また、理解しあえるさまざまな国の友人に恵まれ、彼らと共有した時間は、私にとってかけがえのない財産になりました。

今後、自国だけでなく、グローバルな視点で国際情勢や環境問題に取り組むことが、今まで以上に必要な時代になります。それにともない、日本の英語教育も机上の勉強だけでなく、国際化時代に向けたコミュニケーション重視の教育環境が求められます。今までのような文法中心の受動的な学習ではなく、「話す」ことや「書く」ことを重視した、生徒が能動的に参加できるような授業が必要だと考えます。また、生徒が失敗することを恐れずに積極的に英語を学習しようとする姿勢を育成することも大切です。私は、英語を習得することで自分の世界が大きく広がることを子供たちに知ってほしいと思います。そして、その役割を担えるような英語教員を目指し、これからも努力していこうと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **5**

安城高等学校 1 年 いわま 岩間 しゅか 朱華

『考えるきっかけ』

私は、16年間生きてきた中で、社会問題について考えてきたことはたくさんありました。しかし、どれも私たちが考えたとしても事が大きすぎて解決できない問題ばかりでした。今回、「子育て」、「成年年齢18歳」などの社会問題について考える機会ができました。本来であれば、安城市議会議員さんともディスカッションができればより良い意見が出せたのだと思っています。

「これからAIが発達してくる社会で何が大事か。それは考える力だ。」これは、私が中学生のころ社会の先生がお話された言葉です。今でも忘れますが、私たちはこれからも考えて考えて考えることが大事で、それを実現できるようにするのが技術だと思います。だからこそ、自分で限界を決めずにさらに視野を広げて、1つの問題に完璧な1つの答えではなく、1つの問題に100の答えを出し続けていきたいです。今回は、改めて考えるきっかけを与えてくださりありがとうございます。100の答えを知るためにも、是非またディスカッションの機会を設けていただけたらと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 6

安城農林高等学校 2年 おおひら さわ 大平 桜羽

『あんじょう未来ミーティングに参加して』

私があんじょう未来ミーティングに参加して感じたことは、安城市は私の知らない魅力がたくさんある市だということです。

私は安城市出身ではないのですが、高校は安城農林に通っているので、安城市について少しは分かっているつもりでした。しかし、色々なことを調べていくと、特産品や安城市で生まれ育った人、七夕まつりの詳しいことなど、今まで知っているようで知らない部分がとても多くて驚きました。

さらに安城市について調べていくと、安城市に対する見方が変わり、普段、何気なく歩いている通学路も小さな発見をするようになりました。

例えば、小学生が学校へ登校するときに、地域の方などが毎朝、子ども達の安全を見守ってくれているところです。私の小学校ではそのような取組がなかったので、羨ましく思いつつ地域の方々の温かさを感じました。

その他にも、今まで気がつかなかった用水路マップに気づき、眺めることができました。それ以降、学校の敷地内に流れている明治用水をじっくりみて流れる水の様子や音を聞いてみたり、色々な小さなことに気がつけるようになり、安城市のよさを再発見できたと感じました。

最初は、先生に声をかけられて参加した未来ミーティングだったけれど、自分で考えた意見を発信したり、物の見方を変えられることができました。その結果、自分の中で少し成長できたと思うので参加してよかったです。そして、安城市のことがもっと好きになりました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 7

安城農林高等学校 2年 おおむら ゆう あ
大村 優空

『市民ではない高校生だからこそ』

私は、安城市民ではありません。安城市の学校に通う、市外に住む高校生です。だからこそ、この「あんじょう未来ミーティング～With 高校生～」への参加が決定してからは、安城市を客観的にみて考える機会が増えました。

例えば、アンフォーレについては、自分が住んでいる街にはアンフォーレのように多様な用途に利用できる施設がありません。アンフォーレは、ホール、図書館、店舗、パスポート発券所などが集まっていて、とても便利な施設だという所に着目できました。自分が住む街と比べて考えてみると、安城市特有の「良さ」が分かり、調べるのが楽しかったです。

「市長になったら・・・」では、市営バスが有料ということは、長年安城に住んでいる人であるとそれが「当たり前」だと思ってしまう。しかし、私が住んでいる街では無料だからこそぜひやってみたいと思いました。このように「物事を俯瞰^{ふかん}してみる」からこのような発想ができてよい経験になったと思います。

また、アンフォーレについては、「部活動の関係で、21時まで図書館を開館して欲しい」とか、市営バスを「通学やショッピングのための交通手段として利用したい」など、高校生だから考えられるアイデアを思いついたので、コロナウイルスのため中止になりましたが、実際にミーティングが実施されたのなら、きっと楽しく有意義なものになっただろうと思います。しかし、今回の機会を得て、安城市についてより深く考えるよい機会になったのでとてもよかったです。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **8**

安城南高等学校 2年 おおやま 大山 そうた 颯汰

『安城七夕まつり』

私は、安城七夕まつりを開催するにあたって、コロナ禍における開催と通常通りの場合での意見があります。

通常通りでは、盆踊りや神輿など子供から大人まで楽しめるようなイベントや、流行に乗った屋台を増やすということです。これを行うメリットは、来客数の増加で安城市の大々的な行事としての印象が大きくなるということが期待できます。

次にコロナ禍での開催についてです。チケット作成や日数の増加、区域ごとに分けゲートを作り、アルコール消毒や検温の場を設置することです。メリットは、普段行うイベントよりも新型コロナウイルスへの感染を防ぎながらイベントを開催することができることです。しかし、人手やお金などが大量に必要になります。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 9

安城生活福祉高等専修学校 2年 かみもと 神本 ひろし 宙志

『発表にあたって頑張ったこと』

今回、僕は話し合いや発表などをするということで、必要だと思ったことを考えてみました。グループテーマの「子育てについて」と「市長の仕事」についてです。

「子育て」はまずどういうもので、どのようなことなのか、留意点は何かをまとめてみました。子育ては「子供を幸せにする」ことだと思います。子供をしつけて教育をし、社会に出て生きられるようにすることだと考え、そのためには見捨てないことが大切だと思いました。

次に、僕が市長になったらというテーマに沿って考えてみました。多くの人から票をもらい、信頼を受け、市をまとめる代表である市長に僕がなったとしたら、その信頼を無駄にしないようにしたいです。そして、市民一人一人の声を聞いて明るい街づくり、安心安全な生活を市民がおくれるようにしたいです。学生にはタブレットを一人一台配り、勉強しやすい環境を作りたいと思います。

ミーティングが中止になってしまい、とても残念に思いますが、いつもの学校生活とは違った経験ができました。ありがとうございました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 10

安城学園高等学校 1年

さかぐち はな
坂口 華

『学習を地域の方と共有したい』

私は、安城学園高等学校の英語コースに通う1年生で、学び探究部にも所属しています。英語を話せるようになりたい、という思いで英語コースを選択しました。今年の英語コースの3年生の先輩は、英検1級合格者が複数出るなどの結果を残しています。そのクラスの担任の先生が学び探究部の顧問でもあり、そんな先生のもとで英語を学びたいと思い部活にも入部しました。

今年は新型コロナウイルスの影響で、数日のみ登校したところで休校になってしまいました。しかし、学び探究部の英語の活動はその直後から始まり、英検対策やネイティブとの英会話、映画を利用した授業がオンラインで実施されました。それらはどれも今までに受けた授業とは異なっていて、もっと英語を話したいと心から思えました。

私のクラスには外国籍の生徒もたくさんいて、テストで点数を取るだけの英語ではなく、コミュニケーションをとるための英語としての意識をもっともつべきだと感じるようになりました。

本校は、「安城まちの学校」とタイアップして土曜講座を実施し、学校を地域に開放する取り組みも行っています。その中で、「英語カフェ」という講座があります。英語でお話することをコンセプトに実施していますが、日本人が日本語を使わずに会話する雰囲気にとっても魅力を感じています。

このような取り組みを、アンフォーレなどの場所をお借りして、安城市の職員のかたのバックアップをいただけたら、私たち高校生と地域の方で、英語を使いながらお話をする素敵な会を定期的に行うことができるのではないかと思います。当然、英語を1から学び直したいという方のためにも、私たち現役高校生とともに勉強をする場があるのもおもしろいと思います。

私たち学び探究部の部員は、地域の方とのつながりを願っていますが、なかなかきっかけをつかめずにいます。探究活動や英語・数学の学習を地域の方と共有しながら深めていけたら、今までとは違ったおもしろい学びが始まるのではないかと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **11**

安城生活福祉高等専修学校 3年 ^{しぶや}澁谷 ^{ももか}萌々華

『成年18歳なぜ』

2022年から成年年齢が18歳になることについて、私は反対です。
18歳で成人になると、成人式が大学入学共通テストと重なってしまい、受験の大切な時期に集まるのは怖いと思います。市によって18歳か20歳で成人式をするのかそれぞれ違いますが、18歳で成人式をしても、普通に集まっただけになっていつもの学校と変わらないと思います。高校を卒業して久しぶりに友達と会えるのが楽しみなので、私は20歳になってから成人式が良いです。

また、商品の契約や高額な商品を購入する際、親の同意が無くても契約できるようになってしまうことで、若者の被害が増えると思います。高校生だと友達の影響が大きくて、勧められたら安心して契約してしまうと思います。クラスメイトや先輩からの誘いを断れない子も増え、もし高額なお金の請求が来たら、私なら不安になり親に相談できないです。

まだまだ自立できていない若者、高校生は多いと思うので、親の同意は必要だと思います。成年年齢は今まで通り20歳でいいと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **12**

尾北高等学校 2年

すぎうら あんず
杉浦 杏

『Hometown 安城』

安城七夕まつりは、古くからたくさんの人に愛されている祭りです。しかし、年々来場者数や屋台が減少しています。小さい頃から七夕まつりを毎年楽しみにしていた私としては、最近の七夕まつりに少し寂しさも感じています。

そこで、私は七夕まつりをもっと盛り上げたいと考え、その対策としてSNSでインスタ映えスポットの紹介や開催範囲の拡大を考えています。SNSでインスタ映えスポットの紹介によって、市内外を問わず、若者が訪れたいと思ってもらえるような場所にしたいです。

例えば、商店街の空き店舗の空間を利用し、低料金で宿泊できるホテルや民泊できる場所、誰でも出店できるチャレンジショップブース、インスタ映えスポットとしてのカフェ等、駅近に気軽に寄れる場所の確保が必要だと思います。普段から安城市へ興味を持ってもらうことにより、七夕まつりの周知と集客率を上げることができると思います。

開催範囲の拡大については、名鉄線沿いの各駅やJRの三河安城駅など範囲を広げ、JR安城駅周辺だけでなく市内各所でいろいろな催しを開催することにより、他市や他県、他国からの観光客に巡りたいと思わせることができるのではないかと思います。1日だけでは回り切れない、そう思ってもらうことにより、周辺のホテルも観光客で賑わっていくと思います。桜井地区や篠目地区、東山地区までの市内のいたるところで七夕を感じることができるイベントを開催することで、「願いごと、日本一」をアピールしていきたいです。これは、今のコロナ禍の状況の中で、分散型の新しい七夕様式としても有効ではないかと考えました。

今回、七夕まつりについてここまで考えるきっかけになったのは、「あんじょう未来ミーティング」です。自分は安城が好きなので、このようなミーティングに参加できたことをとてもうれしく思います。コロナ禍で直接お話を聞くことができなかったのはとても残念でしたが、今の安城の状態を考えたり、良さを再認識することができた、とてもいい機会になりました。安城市が今よりもさらに良くなり、たくさんの人から愛され、おばあちゃんになっても安心して住める街になっていって欲しいと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **13**

安城高等学校 2年 ^{すぎうら}杉浦 ^{るい}瑠生

『あんじょう未来ミーティングを終えて』

私は碧南市に住んでおり、また、安城には新幹線が停まることを知っていたため、ミーティングを行う前は「近場のちょっとした都会」としか感じていませんでした。

しかし、今回のような企画を通し、私が毎日通っている街「安城」について一度真剣に考え、本校の生徒会メンバーとも意見を交わした結果、安城在住者と市外在住者、2つの観点から見えてくる安城のメリットや改善点がたくさんあがり、また全員から「安城をより良くしていこう！」という大きな愛を感じました。

このコロナ禍の影響により、他校と意見交換する機会が失われてしまったことは非常に残念ですが、安城について考えることができた、このような企画に参加することができて、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は来年受験生となるため、企画に参加することはできないのですが、これからもこの企画が続いていき、安城がより良くなっていくのであれば幸いです。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **14**

安城東高等学校 2年 ^{すずき}鈴木 ^{だい}大生

『安城市をよりよくする為に』

僕は、安城市をよりよくする為に市営施設の充実が欠かせないと思います。

そこで、僕はアンフォーレへのよりよい設備の設置に着目しました。具体的な例としてはゴミ箱の設置です。アンフォーレには現在ゴミ箱が無く、飲食物や消しゴムのカスを捨てる場所が無いため、隣接しているドミのゴミ箱へ捨てに行ったり、消しゴムのカスに関しては机の下に払い落とす人も散見される様な状況です。

そこで、トイレや階段付近にゴミ箱を設置することが必要だと感じました。この設置に当たって1ヶ月程度の試行期間を設け、どのようなメリット・デメリットが生じるのかなどを、アンフォーレの職員の方や利用者の方々にチェックして頂いたり、任意のアンケートに回答していただくと、設置の可否や注意すべき点がはっきりと認識できると思います。

安城市をよりよくする為に、まずは安城市の顔とも言えるアンフォーレの施設充実から実現させたいと思います。

ゴミ箱の設置は、すべての図書館にあるわけではなく、ゴミ箱のない図書館も多くあります。今、アンフォーレにゴミ箱を設置することで、使い勝手の良い居心地の良い図書館にすることが可能だと思います。その結果、近隣市町村からの来館者の増加や、ひいては付近の飲食店等の売り上げ増加にもつながるのではないかと思います。

このように、アンフォーレ等の市営施設を中心に、よりよい安城市づくりを進めていけたらと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **15**

安城南高等学校 2年 たけうち ひ の か 竹内 陽乃華

『子育てについて』

私は、子育てについて今より女性の負担を減らすべきだと思います。なぜなら、核家族が増加する一方で、女性の負担が昔と変わっていないと思うからです。

女性の負担を減らすために、私は3つのことを考えました。

1つ目は、男性の育児休暇を増やすことです。女性1人で育児と家事を両立させることはとても難しいことです。特に乳児期は夜泣きが多く、心身への大きな負担の原因です。だから、家事をしている間、子どもの面倒を見てもらうことは、女性にとってとても家事のしやすい環境となると思います。

しかし、育児休暇を取るのが難しい男性もいるかもしれません。そのため、2つ目の考えは、男性の定時帰宅を増やすことです。育児休暇よりも女性を支える時間は短いですが、少し楽な時間があるのとなないのでは大きな差があります。私は、育児は女性1人でするものではないと思います。そして、少しでも良いので手伝う環境が作られたら良いと思っています。

3つ目は、働きたい女性、働く女性のための託児所を増やすことです。なぜ働きたい女性と書いたかといいますと、子どものいる女性は「子どもがいるから」という理由で断られることがあるそうです。預ける場所がなければ就職するのは難しいというのは良くない考えだと思います。また、働きたい女性のための託児所を増やすことで、経済的にも安定すると思います。

以上の3つが、私が考えた子育てについての意見です。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **16**

安城生活福祉高等専修学校 1年 ちから主税 りん凜

『感想』

今回、この「あんじょう未来ミーティング」に関わることができて良かったと思いました。開催こそできませんでしたが、それぞれのテーマに沿って、様々なことを考えることができました。

安城市に住んでいても、普段あまり気になけなかったりすることが多かったと思います。また、その場で気になったとしてもそれを伝える相手がいません。決まった題で自分なりに考えることで伝えたいことがまとまり、市議会の方にお話できる「あんじょう未来ミーティング」は、本当に素敵な企画だったと思います。開催することができなかったことは本当に残念でなりませんが、次に開催する際には、今回とは違うテーマでぜひ参加したいと思いました。他校の方と交流を深めるのにもいい機会だと思いました。

中学校の時は授業などでよくやったディスカッションでしたが、高校に入ってからあまりやることはありませんでした。また、コロナウイルスの影響により他校との交流の場などがほとんどありませんでしたが、この「あんじょう未来ミーティング」に今回参加することで、違う学科の先輩方と関わることが出来たり、自分の新しい考えを持つことができたりしました。本当にありがとうございました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **17**

安城南高等学校 2年 つるた 鶴田 やまと 和士

『アンフォーレについて』

私が、アンフォーレでより多くの市民の方に本を借りてもらう、本に興味を持ってもらうために、行ったら良いと思うことは2つあります。

1つ目は、借りたい本などの意見を集めるアンケートボックスを設置するということです。これを行うことのメリットは、借りたいと思っている本を図書館に入れることにより借りる人が増えるということです。デメリットは、集計を行うことが大変になることと、アンケートボックスに落書き等のいたずらがされる可能性があることです。

2つ目は、月ごとまたは年間の年齢別貸し出しランキングを作成することです。ランキングを作成することにより本に興味を持ってもらえるからです。ランキングはアンフォーレに掲示したり、広報あんじょうに掲載します。

また、消しゴムのかすなどが残っていることがあるので、ゴミ箱の設置もすると良いと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 18

知立東高等学校 1年 ^{てさき}手崎 ^{はるな}晴菜

『未来の安城を私たちの手で』

私は2年後に選挙権を持つ高校生として、安城市についてもっと知ろうと思い、「あんじょう未来ミーティング」に参加することに決めました。参加するにあたって、自分なりに安城市と向き合い、どうすればより良い街となるかを考えました。

安城市も高齢化が進み、それに対する政策を行っていく必要があります。図書館や病院などの公共施設やスーパーなどでは、たくさん的高齢者を見かけます。安城市外では、高齢者ドライバーが事故を起こした、といった内容のニュースを見ることも多くなりました。私自身、通学する中で、高齢者の運転に危険を感じることもありました。若い人からお年寄りまで全ての世代が暮らしやすい街を作っていくには、まだまだ改善すべき点が多くあると思います。なにを行うべきか、知らなければ考えないし、考えなければ改善されることはありません。安城市は、都会すぎず田舎すぎず、住みやすく私の大好きな街です。しかし、現状に満足せず、さらなる発展を目指すにはどうしていくべきかを一人一人が考え、政策として行っていくべきだと思いました。

2020年は、世界が大きく変わった1年でした。

これまで、市長や県知事がどのような仕事をしているのか、考えたこともありませんでしたが、コロナウイルスの感染拡大は、政治について考えるきっかけを与えてくれました。

私の中学校の卒業式や高校の入学式も、コロナの影響を大きく受け、例年とは違う形式での開催を余儀なくされました。一方で、卒業式や入学式を行うことすらできなかった学校もあったとニュースで知りました。また、緊急事態宣言により休校措置がとられ、部活の大会も中止になるなど、私たち高校生の生活も大きく変わってしまいました。

自治体によって政策や制限の内容が変わり、その政策によって結果も大きく変わっていく。政治は私たちにとって身近なものであり、政治について自分なりに考えることが大切だと強く感じています。

高校生の私たちは、もう子供ではなく2年後には選挙権を持つ年齢です。中には、高校生のうちに選挙権を持つ人もいます。

「あんじょう未来ミーティング」参加をきっかけに、今後、安城市長や市議会議員に立候補する人たちの公約などに目を向けようと思います。自分の目で政治を知り、自分の手で投票を行うことが重要だと感じました。そして、安城市だけでなく、さらに視野を広げて、日本や世界の社会情勢にも目を向けていきたいと思いました。

未来を担う私たち高校生が、日本や世界のこれからに目を配ることが世界を今度は良い方向に大きく変える第一歩となるのではないかと思います。政治に興味を持ち、より良い社会を築いていくことに貢献していきたいです。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 19

安城農林高等学校 2年 はなだ花田 ゆうな有菜

『子育てについて自分の体験から思うこと』

私は今まで子育てをしたことがないので、「こうしたらいい！」という具体的なことは分かりません。しかし、私が経験したことで「自分が変わった」と感じる事ができたので、そのことについて述べます。

それは、小学校6年生から中学校1年生にかけて参加した山村留学についてです。そこでは、話し合いを1から行って生活を作っていく場所でした。当時の私は、学校での人間関係が上手くいかず、学校へ行きづらくなっていました。ここでの体験を通して、自分が思っていることを伝える大切さ、周りの人との考え方の違う部分や共感する部分を認めること、話し合いを通して分かり合えたときの喜びや、人間関係を築くことの大切さや難しさを学ぶことができました。

安城市の子育てについて調べてみると、乳幼児に対する支援では、母子ともに様々な面で支えられているものの、小学生、中学生、高校生に対する支援が少ないように感じました。年齢を重ねるごとに親の手を離れていくため、とてもデリケートな年頃であり、様々な悩みにぶつかるために、乳幼児とは違う面で同じくらい周りの人からの支援を必要とすると思います。そのため、私はそのような子どもたちを支える政策づくりをしていくべきだと思います。その例として、私が2年間生活してきたような共同生活の施設を安城市に作ることを提案します。このような施設での経験を通して、相手も自分も大切にできるような「人づくり」ができるといいと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **20**

安城高等学校 2年 ひょうどう ゆう き
兵藤 侑己

『安城市民の1人として』

今回、「アンフォーレ」について調べて自分なりに意見をまとめて、改めてアンフォーレが安城市民にとって憩いの場であり欠かせない施設であることに気付かされました。学生の占める割合が大きく、マナーが守れていなかったり、体験やイベントなどの宣伝が少ないなど課題はあります。しかし、このコロナ禍においても多くの方に利用されているので、なくてはならない存在なのだと感じました。そして、それと同時に、私も安城市に住んでいる高校生の1人として、アンフォーレだけではなく安城市の他の施設や課題についても、どうしたらより良いものになるかを考えようと思いました。

そこで、私が安城市長になったら、学生目線の意見、要望、課題を書き留めて市役所に伝達できるような目安箱を各学校に設置したと思います。また、学校だけでなく、アンフォーレやデンパークなどの公共施設にも設置して、より多くの市民のみなさんから多くの要望を聞き、それを実現したいと思います。

残念ながら集まっのミーティングは無くなってしまいました。しかし、このミーティングに参加するにあたって、安城について考えてみる機会をいただきました。今ある施設をより有効に市民に使ってもらう方法の模索や、市民が必要とする施設・設備の充実により、市民の満足度を高めることが大切であることに気付きました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **21**

安城生活福祉高等専修学校 2年 ^{みなみ}南 ^{めいの}芽衣乃

『明日に向かって』

高校生活が始まって2年目、これから始まる新しい1年に期待を膨らませていた中、コロナ禍の学校閉鎖など、様々なところで今まで過ごしていた日常がなくなり、悲しいことがたくさんあった2020年でした。

学校生活では、様々な行事が中止・延期となり、友達との物理的な距離ができてしまいましたが、その中でも自分たちに何ができるのかを考えて、みんなで意見を出し合い協力することで、より絆を深めることができました。全てのことを諦めるのではなく、明日に向かって1歩ずつ前進していったから、今2021年が始まったと思います。

高校生たちのあんじょう未来ミーティング意見交換会で、他校の生徒さんと意見を共有する貴重な時間に参加する機会をいただけ嬉しく思いました。今回は皆さんと対面して意見交換ができませんでしたが、あらためて高校生である今の自分にできることを考える機会を与えていただいたことに感謝をします。ありがとうございました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **22**

安城高等学校 1年 みね き 嶺木 なの か 菜夏

『あんじょう未来ミーティングで感じたこと』

私は、この“あんじょう未来ミーティング”に参加するにあたって様々なことを考えました。

今まで自分の住んでいる町についてあまり深く考えたことがなかったので、始めは何を考えればよいのか分からず戸惑いました。しかし、段々と“理想の町”が思い浮かぶようになり、考えることがとても楽しくなっていました。

ですが、“理想の町”が沢山思い浮かべば浮かぶほど、“現実の壁”を思い知りました。「ああしたい」「こうしたい」という理想を思い浮かべるだけではだめで、理想を実現するためには、具体的な方法を考えなければなりません。案を練り、皆に知ってもらい、企画を成功させることは難しいのだと感じました。

例えば、“安城まちなかホコ天きーぼー市”について知った時にそう感じました。商店街を活性化させるためにできることはないかと考えていたときに、数人の友達が、歩行者天国やフリーマーケットを開けばよいのではないかという案を出してくれました。私たちが考えた案が“安城まちなかホコ天きーぼー市”として実現されていたのですが、私たちは安城に住んでいながらその存在を知りませんでした。今回で知ることができたので是非行ってみたいと思っていますが、改めて様々なライフスタイルの市民に情報を伝達する難しさを感じました。

私はこの経験を通して、安城を支えてくださっている方々の大変さや努力を知りました。理想と現実の間で日々葛藤し、この安城をよりよい町にしてくださっている方々に感謝したいと思いました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **23**

安城農林高等学校 2年 めんじょう 毛受 まこ 茉莉子

『他市民の高校生が感じた安城』

私は、安城農林高等学校に入学するまで、「安城」という場所のイメージが正直ほとんどありませんでした。入学前のイメージは、習いごとでやっていた柔道の昇段試験の会場がある場所というイメージくらいしかありませんでした。ですが、高校入学後、「安城」で友人と遊んだり、日常での通学を繰り返すたびに、今まで知らなかった色々な「安城」を知ることができました。その中でも印象に残っているものをいくつかあげます。

1つ目は、立派な公園の数が多いことです。特に印象的なこととして、公園の中にシカやクジャクなどの動物が飼育されている施設があったり、遊具の種類も充実しているところが、私が住んでいる街と比較しても多いと感じます。

2つ目は、鉄道の駅が多く交通の便がとてもいいことです。市の面積が広いことも関係しているかもしれませんが、新幹線の駅があることは大きな要因です。うまく利用すれば名古屋駅へ10分程度で行くことができ、利便性の高さを感じます。

3つ目は、市内に高校の数が多いことです。私が住んでいるところは、市内に私公立あわせて2校しかないのとてもうらやましいです。地元にある高校を進学先として選べることは、中学生にとってよいことだと感じます。

他にもいろいろありますが、特に印象に残ったことをあげました。残りの高校生活1年間ですが、進学・就職先によっては、今まで以上に「安城」でお世話になると考えているので、これからも新しい「安城」を発見していきたいです。

最後にお願ひがあります。私のように「安城」の知識がない人が「安城」に来て、「安城ってすごい!」、「安城って面白い!」と思ってもらえるような街づくりをしていってください。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **24**

安城学園高等学校 1年 やまもと 山本 まや 麻椰

『学校という枠を越えた学びの場』

私は、安城学園高等学校に通う1年生で、学び探究部に所属しています。学び探究部は今年から始まった部活動で、主に英語・数学・探究の学習活動を行っています。学習活動といっても黒板に向かう授業ではなく、「学びたい」という気持ちを大切にして、私たちの興味関心に合わせて学習活動をしています。

私は、その中でも数学の活動が印象的です。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で6月までほとんど登校できませんでした。部活動も所属しただけでしたが、そのような状況の中で、顧問の先生から「挑戦状」と称して数学パズルの問題がライブ配信で出題されました。普段の授業で解く問題では、「どの公式を使うのか」、「この問題はいつ習ったか」などと考えてしまいましたが、その時に挑戦した問題では、「どうやって考えればいいんだろう」と考えたり悩んだりすることを純粋に楽しむことができました。1月には数学オリンピックにも挑戦しました。部活動の中で過去問も解きましたが、その時も解き方を教えてもらうというより、部員と協働してアイデアを出し合ったり、手を動かして試行を繰り返したり、自分たちから積極的に思考することを楽しいと感じることができました。

私たち学び探究部の部員は、この1年間、コロナ禍でも学びの手を止めることなく取り組んできました。たとえ一時的に学校に登校できなくても、「解決したい」と挑戦する気持ちと課題があれば、そこには良い学習環境が生まれるとわかりました。安城市には、アンフォーレなどの市民が集う場所があるので、そういった場で私たちが挑戦した「挑戦状」のような課題を提供すれば、学校や世代の枠を越えて学び合えるようなきっかけを生むことができると思いました。そのきっかけがあれば、そこで一緒になった中学生が高校生に教えてもらったり、大人の方の経験を聞いたり、学習の輪が広がっていくのではないかと思います。

学校という枠を越えて学び合える場ができ、市全体で学力の向上を図れるような環境が実現できるといいと思いました。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **25**

安城学園高等学校 1 年 よこやま 横山 もえな 萌那

『take part』

私は、安城学園高等学校の学び探究部に所属する 1 年生です。みなさんは、高校の「総合」という授業が「探究」に変更されたことを知っていますか。変更された目的の 1 つは、「社会の変化に対応できる資質や能力を育成するため、教科を越えた横断的・総合的な学習を推進するため」だそうです。私は、この「探究」を授業外の部活動で取り組んできました。始めは「探究」がどんな活動をするものなのかわかりませんでしたが、活動をしていくうちに「決まった答えがなく、自ら決めた課題の解決に向けて行動する」、「自分が興味関心を持った方に進むことができる」ことを知り、良い意味で自由の多い活動であると感じました。

私の探究活動は、もともと好きだったスポーツという興味に SDGs の貧困という関心が融合し、貧しい国の子どもたちにスポーツの道具を届けたいという目的をもって始まりました。途中、部活仲間の活動の影響もあって、教育を届けたいと思うようになりました。今では国に関係なく、世界中の子どもたちに教育（楽しいと思える授業）を届けることを目標に活動しています。

これまでの探究活動を通して、「探究」が他の授業と違うと感じたのは、外へ外へと視野を広げ、学校という枠を越えて地域の人や団体とコミュニケーションを取ってきたことです。今回の活動でも、地域のフリースクールへ足を運んで見聞したり、Zoom を利用して県外の高校生とコミュニケーションを取ったりと、積極的に学校外へと活動を広げました。近年では、そのような活動を広げるための環境は整いつつあると思います。Wi-Fi やタブレットは当たり前になってきているし、今年のコロナ禍も影響して Zoom などのビデオチャットサービスは急速に発達しました。

あとは、安城市の会社や行政、団体ともっと関わる機会があれば、高校生の声を社会に発信することができると考えました。若い世代の声は SNS でとても大きな意味をもつと思います。有料のコマーシャルで活動を広めるのではなく、活動組織の中に私たち高校生を参加させていただいたら、おもしろい化学反応が起きると思いますし、私たちがどんどん盛り上げていきます。

先日、英語の授業で「参加する」という英語は「take part」だと学びました。高校生にしか表現できない役割“part”を私たちに与えていただけないかということをごここに提案させてください。他人ごとに物事を考えるのではなく、私たち高校生の part に責任と行動をもって参加できたら、よりよい社会を創っていけるのではないかとワクワクした気持ちになっています。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **26**

安城東高等学校 2年 ^{よし}み ^あみ
吉見 安未

『私たちの街、安城市！』

今回のラウンドテーブルディスカッションにあたり、2つのテーマが与えられていましたが、まずグループテーマである成年年齢18歳について述べたいと思います。

私は、成年年齢改正により社会にいい影響がもたらされたいと思いました。少子高齢化が進む中、若者達の力が社会には必要不可欠とされる時代になってきました。しかし、若者の政治への意識や関心はまだまだ薄いのが現在の状況です。では、どのように意識や関心を高めたらよいのか。例えば、成年年齢引き下げの前に話題となった選挙権改正に伴っては、私の高校では出前選挙の授業がありました。その授業を終えて、生徒たちの選挙に対する意識がより身近となり、未来の素晴らしい社会を構築するための政治と一緒に作っていく有権者に私たちになれるという姿を見ることが出来ました。このように、若者に「成人」と言う立場を実感させることで、政治や社会の仕組みとどのように関わっていけば良いのかを考える姿勢が生まれ、教育なども変わっていくのではないのでしょうか。また、成人という扱いになれば、例えば、罪を犯したら実名が報道されます。そういった面でも若者の犯罪抑制につながるのではないかと私は思いました。

2つ目のテーマ「私が市長になったら」ですが、私は全市民への教育の向上に力を入れたいと思いました。

具体的には、学校の教材を電子化したりすることや、安城市に住む外国人が活用できる教育プログラムを組んだりすることです。教育は優秀な人材を生み、それは安城市や世界をより良い方向に動かすことに最終的につながると思います。もしかしたら、市議会の枠を越えた素晴らしい活動や発想が生まれる活気溢れる街になるかもしれません。私は、教育が街の未来を変えたいと思います。

あんじょう未来ミーティング～With高校生～ 「意見発表」

議席番号 **27**

安城南高等学校 2年 ^{よしもと}吉本 りん

『成年年齢 18 歳について』

成年年齢 18 歳について私は反対である。理由は、未成年取消権を使えなくなるため、悪徳商法や詐欺による被害が増える可能性があるからである。未成年取消権とは、①契約時の年齢が 20 歳未満であること②契約当事者が婚姻の経験がないこと③法定代理人が同意していないこと④法定代理人から処分を許された財産(小遣い)の範囲内ではないこと⑤法定代理人から許された営業に関する取引でないこと⑥未成年者が詐術を用いていないこと⑦法定代理人の追認がないこと⑧取消権が時効になっていないこと⑨未成年者自身または法定代理人のどちらからでも取り消しできる。以上 9 点がすべて当てはまれば、未成年者がおこなった契約を取り消すことができる権利である。

就職や進学などで親元を離れたり、さまざまな契約を結んだりするなど、これまでに経験したことのないことに触れ、また、新しい人たちに出会う中で、私たちを騙そうとする人たちもいるであろう。だが、経験不足ゆえにそれに気づかず、契約させられてしまうことも少なくはない。これにより、被害を被ったり犯罪に手を染めたりしないように、社会として守っていかなければならないと私は考える。2 年という短い期間ではあるが、これからの日本の社会、経済を担っていく人材となるために必要な知識、また、悪徳商法や詐欺に騙されない方法を学ばなければならない。

以上の理由により、成年年齢 18 歳について反対である。

ファシリテーター 講評



Aグループ
ファシリテーター
松本佳栄 議員

あんじょう未来ミーティングが中止になってしまい残念でしたが、大変貴重な意見を寄せていただき、ありがとうございました。

Aグループテーマ『成年年齢18歳』については、日本人はモラルもあり問題ない、他の国が成年年齢を18歳としているのだから私たち日本人にもできるはず、という頼もしい意見や、未成年者取消権が使えなくなるため、悪徳商法や詐欺による被害が増加する可能性があるなど、不安な気持ちを持っておられることがわかりました。

共通テーマ『私が市長になったら・・・』については、小中学校の英語教育の充実に力を入れ、試験で点を取るための英語教育ではなくて、国際化時代に向けた、より実践的な英語教育を小学校低学年から受けられる環境づくりに取り組みたい、日本の平均寿命が伸びていることに関して、少しでも健康に長生きできる人を増やすため、健康寿命を延ばしていけるまちづくりをしたいなど、私が想像していた以上に、みなさんが真剣に考え、しっかりとした意見を持っていることを知り、大変嬉しく思いました。

現在、コロナ禍における不透明な時代ではありますが、しっかりと時代を見据え、心優しい大人（成人）になって、一步一步着実に自分の人生を歩んでいってください。みなさんの未来は輝いています。



Bグループ
ファシリテーター
神谷清隆 議員

○第1部「子育て」について

子育ては、世の中で一番難しいと言われています。一方、子どもは昔から「宝」と言われ、大事にされてきました。子どもを育てる機会をいただいたことは人生の喜びであり、やりがいがあります。この度、縁があつて6名の高校生の皆さんの子育てに対する考えを知ることができ、大変勉強になりました。皆さんの意見を一部抜粋させていただきます。

Aさん：家事イコール妻がやること等の今の社会の偏見を無くす。

Bさん：子どもの触れ合いの場を増やす。 Cさん：男性の育児休暇を増やす。

Dさん：小・中学生、高校生への支援を増やす

Eさん：移動児童館のサービスの充実。

Fさん：子育てとは、子どもがその後の人生を幸せに生きること教えること。

皆さんから貴重な多くの提言をいただき、とても参考になりました。これからも子育てに限らず、夢のある政策提言を期待しています。

○第2部「私が市長になったら・・・」

皆さんの夢と希望に溢れる提言に大変感心いたしました。「現在を語る者は過去を知ること、未来を知る者は現在を学ぶこと」と言われています。安城市の発展の原点は、明治用水の計画を作った都築弥厚にあります。荒れた碧海台地を緑に変えた翁のパイオニア精神を学び、皆さんに引き継いでいただきたいと思います。経済の発展無くして地域の発展はありません。皆さん、希望と勇気をもって未来に向かって大きく羽ばたいてください。

ファシリテーター 講評



Cグループ
ファシリテーター
石川博英 議員

○アンフォーレについて

「勉強専用スペースの拡大」、「年齢別貸出ランキング公表」、「図書情報館も21時まで利用可能に」、「リユース本があり、ものを大切に扱う姿は素晴らしい」、「学習スペースと交流スペースの機能が両立している」、「各フロアにゴミ箱の設置」、「イベントへの参加人数が少ないと感じるのでPR不足ではないか」などのご意見を伺うことができました。

アンフォーレは、市民の皆さんに誇れる施設運営ができていると自負していましたが、実際に利用してくださっている高校生の皆さんからのご意見を参考に、奢ることなく賑わいを創出できる施設としてアンフォーレを進化させていかなければと強く感じました。

○私が市長になったら……

「目安箱の設置」、「市バスの停留所改善」、「街路灯の増設」、「無料市営バス運営」、「各家庭・事業所への加湿器配布」、「学習へのサポート強化」、「商店街の復活」、「SNSを活用した子育てしやすいまちづくり形成」などのご意見を伺うことができました。

いずれも安全で安心できる市民生活を目指し、「行政運営を進めてくれ」とのご意見と感じます。私たち議会も、市民の皆さんのご意見を市政に反映できますよう活動してまいります。

○コメント

コロナ禍で書面でのご意見拝聴となってしまう、生の声での意見交換ができなかったことは、とても残念です。広い視野で発言される皆さんの中から、将来の市議会議員あるいは市長が誕生することを願っています。



Dグループ
ファシリテーター
松尾学樹 議員

私たちのグループテーマは「安城七夕まつり」でしたが、皆さん七夕まつりを身近に感じてくれているようで多くの意見を出してくれました。

まず、「ごみ箱ボランティアの皆さんには頑張っていただいているが、ごみのポイ捨てがあると思う。ごみ箱を大きな交差点だけでなく、屋台と屋台の間や空き地などにも設置する」、「アンフォーレや路上以外の場所に飲食スペースを設置し、屋台で買ったものをその場で食べ、ごみはその場で捨てれば片付けやすくなる」、「迷子の対応としてLINEやホームページを活用する」、「屋台が並んでいるところにテントや椅子を設置し、そのテントに願いごとの短冊を貼るなどして、休憩場所+インスタ映えスポットとして活用する」など、皆さんが感じている課題の改善についての意見を出してもらえました。

また、「区域ごとに分け人数制限をかける・日数を増やして人数を分散させる・チケットなどを作り安城市民限定にするなど、分散型の新しい七夕まつりにする」など、コロナ禍で開催する案も出ました。皆さんの安城七夕まつりをさらに盛り上げ、より良い安城七夕まつりにしたいという思いを感じました。

共通テーマである「私が市長になったら……」では、「あんくるバスの増便及び時間延長」、「高校生の医療費助成」、「ミラーや街灯の設置」、「商店街の空き家や深夜営業のお店を、昼間に勉強スペースとして活用」、「安城を活性化させられるような施設作り」、「デンパークにドラマや映画のロケ地を招致」、「道の駅に温泉を併設」など、身近なことから夢のある意見まで、様々な皆さんの思いが伝わってきました。高校生の皆さんが、市長になったら暮らしやすい安城にしたいと感じてくれていることを大変うれしく思いました。

あんじょう未来ミーティング ～with 高校生～を終えて



安城市議会

副議長 深津 修

安城市議会では、これまでに市内の中学生を対象に、「安城市子ども議会(2012)」や「“未来・夢”中学生議会(2017)」を開催してきました。中学生ならではの提案や質問が繰り広げられ、中学生議員が提案した「健康にすごせるまちづくりについて」を本市が採用したこともあります。

このたび、市内の高校選抜と一般公募(市内在住者対象)によりご参画いただいた「あんじょう未来ミーティング ～with 高校生～」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市議会本会議場での開催は叶いませんでしたが、私たち議会が提示した4つのグループテーマ『成年年齢 18 歳』、『子育て』、『アンフォーレ』、『安城七夕まつり』と、共通テーマ『私が市長になったら・・・』について、皆様が日々の暮らしの中で思い感じていることを明文化していただきました。

未来ある若者たちが感じている課題やまちづくりに対する意見、提案を拝見させていただき、そのレベルの高さに感心し、郷土を思う心に深い感銘を受けました。今後は、今回お寄せいただいた提言等をブラッシュアップし、市政へ繋げ活かして参ります。

結びに、皆様には引き続き市政に関心を持っていただき、安城市の応援団となっていただくことをお願い申し上げ、総括とさせていただきます。

令和2年12月28日、安城市議会と高校生による意見交換会が開催される予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、開催ができませんでした。高校生の皆さんは、この日のために準備をされていたと思います。私どもも大変楽しみにしておりましたので、非常に残念です。

皆さんからいただいた意見の中には、市民の方が日々問題に感じている身近な問題から、安城市の将来のことまで様々な意見がありましたが、自分たち、自らが行動できることを中心にまとめられていて、私たち議員も見習うべきところを数多く感じました。

今回の機会で、少しでも市政に関心をもっていただけたら幸いです。ともに未来ある安城市を作り上げていきましょう。

今回の皆さんの意見をしっかり受け止め、参考にさせていただき、今後の行政に反映させていきたいと思ひます。

高校生の皆さん、ありがとうございました。



あんじょう未来ミーティング
ワーキンググループ副リーダー

すぎやま ほがら
杉山 朗 議員

あとかき

「あんじょう未来ミーティング～W i t h 高校生～」は、若い世代の方に、より議会を身近に感じてもらうことを目的に、安城市議会初の試みとして企画されました。

残念ながら、実際に顔を合わせてのミーティングはできませんでしたが、この冊子を通して、高校生の方々のしっかりとした考えや意見を聴くことができ、我々市議会議員も、身の引き締まる思いでした。これからも、さらに安城市の為に尽力していかなくてはと決意を新たにいたしました。とても有意義なミーティングだったと思います。

本市議会としましては、若い世代の方々の斬新で貴重なご意見に耳を傾けるべく、これからもこのような企画を行っていきたいと思っております。

最後になりましたが、「あんじょう未来ミーティング～W i t h 高校生～」にご参加いただいた生徒の皆さま、また、ご協力いただきました各学校の先生方に対しまして、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

安城市議会

【あんじょう未来ミーティングワーキンググループメンバー】

安城市議会議員

にむら 二村	まもる 守	すぎやま 杉山	ほがら 朗
のば 野場	よしのり 慶徳	いまはら 今原	やすのり 康徳
つじやま 辻山	ひでふみ 秀文	いしかわ 石川	つばさ 翼
いしかわ 石川	ひろお 博雄	いしかわ 石川	ひろひで 博英
まつもと 松本	かえ 佳栄	かみや 神谷	きよたか 清隆
まつお 松尾	まなき 学樹		
おおや 大屋	あきひと 明仁	ふかつ 深津	おさむ 修

【巻末資料】

- ・ポスター
- ・あんじょう未来ミーティング 日程表
- ・あんじょう未来ミーティング 開催要項
- ・議場 議席表

新型コロナウイルス感染症の影響で、実際に関
催することはできませんでしたが、当初の予定
を資料として掲載させていただきます。

【ポスター】

各学校及び
公共施設掲示用



高校生

あんじょう未来ミーティング

市議会

令和2年
12月28日 月曜日
9:00-12:00
市役所北庁舎

◆一般公募(6名) 市内在住の高校生 (10月15日⑥から申込開始)
◆学校選抜(24名) 安城高等学校、安城東高等学校、安城南高等学校、安城農林高等学校、安城学園高等学校、安城生活福祉高等専修学校 (各校より4名を選抜)

※ 安城市議会が主催する、「あんじょう未来ミーティング」の詳細につきましては、「市議会だより」や「広報あんじょう」、「市議会WEBサイト」「やるじゃんAnjo!」でご確認ください。

やるじゃんAnjo!
安城市議会

市議会Webサイト
メール申し込み

<お問合せ> 安城市議会事務局 〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号 電話:0566-71-2252 ファクス:0566-77-8200



やるじゃんAnjo!
安城市議会

あんじょう未来ミーティング

令和2年12月28日 月曜日
①あんじょう未来ミーティング with 高校生
◆一般公募(6名) 市内在住の高校生 (10月15日⑥から申込開始)
◆学校選抜(24名) 安城高等学校、安城東高等学校、安城南高等学校、安城農林高等学校、安城学園高等学校、安城生活福祉高等専修学校 (各校より4名を選抜)

令和3年1月14日 木曜日
②あんじょう未来ミーティング with 安城特別支援学校

詳細は市議会Webサイトでご確認ください。

<お問合せ> 安城市議会事務局 〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号 電話:0566-71-2252 ファクス:0566-77-8200

**あんくるバス
掲示用**

あんじょう未来ミーティング～With 高校生～ 日程表

令和2年12月28日（月）

時間	内 容	場 所	
8:45	受付	北庁舎 6 階	エレベーターホール
9:00	開会式	議 場	典 礼： 杉 山 朗議員 (1) 一同礼 (2) 市民憲章唱和 深津 修副議長 (3) 始めのことば (4) 議長挨拶 大屋 明仁議長 (5) ミーティングの趣旨説明 二村 守議員 (6) 終わりのことば
9:15	【第1部】 ラウンドテーブル ディスカッション (途中休憩あり)	各会議室 A：議会図書室 B：第1議会会議室 C：委員会室 D：第2議会会議室	《前半》グループテーマ Aグループ「成年年齢18歳について」 Bグループ「子育てについて」 Cグループ「アンフォーレについて」 Dグループ「安城七夕まつりについて」 《後半》共通テーマ 「私が市長になったら・・・」
10:30	【第2部】 意見発表 (途中休憩あり)	議 場	第2部取りまわし 大屋 明仁議長
11:40	ファシリテーター 講評	議 場	(1) Aグループ 松本 佳栄議員 (2) Bグループ 神谷 清隆議員 (3) Cグループ 石川 博英議員 (4) Dグループ 松尾 学樹議員
11:52	閉会式	議 場	典 礼： 杉 山 朗議員 (1) 始めのことば (2) 副議長講評 深津 修副議長 (3) 終わりのことば (4) 一同礼 (5) 事務連絡
11:55	記念撮影	議 場	集合写真
撮影 終了後	アンケート記入	議 場	議席にてアンケートを記入
12:00	解散		アンケートの記入を終えた方から解散

「あんじょう未来ミーティング～With 高校生～」
開催要項

安 城 市 議 会

《1.開催日時》

- 令和2年12月28日（月） 午前9時から正午頃まで

《2.開催場所》

- 安城市議会 議場ほか（安城市役所北庁舎6階）

《3.受付時間・場所》

- 時間：午前8時45分
- 場所：安城市議会 議場ロビー（安城市役所北庁舎6階）

《4.参加者》

- 学校選抜生徒：市内の学校（※1）から各4名 計24名
※1 安城高等学校、安城東高等学校、安城南高等学校、安城農林高等学校
安城学園高等学校、安城生活福祉高等専修学校の6校
- 一般公募生徒：市内在住の高校生（18歳以下） 6名
- 市議会議員：28名

《5.ミーティングの内容》

- 【第1部】 グループごとのラウンドテーブルディスカッション
- 【第2部】 議場での意見発表会

《6.タイムスケジュール》

時間		内容
08:45	08:55	参加者集合（北庁舎6階ロビーで受付後議場指定席へ）
09:00	09:10	開会式
09:10	09:15	各会議室へ移動
09:15	10:25	【第1部】ラウンドテーブルディスカッション（※2）
10:25	10:30	議場へ移動
10:30	11:35	【第2部】意見発表（@2分×30人）（※2）
11:40	11:52	ファシリテーター講評（@3分×4人）
11:52	11:55	閉会式
11:55	12:00	写真撮影、解散

※2 新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、概ね30分毎に換気のため休憩を取ります。

《7.ラウンドテーブルディスカッション》

- テーマ別にグループに分かれ、ラウンドテーブル方式の意見交換会を行う。
(会場：各会議室等)
- 各テーマについて1分以内で発表。
- 司会進行・ファシリテーターは議員が行う。
- 前半：グループごとのテーマについて（下記テーマから事前に1件を選択）
A グループ「成年年齢18歳について」 B グループ「子育てについて」
C グループ「アンフォアレについて」 D グループ「安城七夕まつりについて」
- 後半：共通テーマ「私が市長になったら・・・」について

《8.意見発表会》

- 議場にて各自意見発表（1人2分以内）
- 発表内容は自由
(第1部のラウンドテーブルディスカッションでの意見、または当日の全体的な感想等)

《9.参加申し込み方法》

- 学校選抜生徒：各学校より推薦願います。別紙「エントリーシート」に必要事項を記入し、議会事務局へご提出ください。
- 一般公募生徒：住所、氏名、学校名、学年、連絡先（電話番号、メールアドレス）をEメールまたはFAXで議会事務局へお送りください。
※公募については、応募多数の場合は抽選。結果は後日ご連絡いたします。
- 提出締切日：令和2年10月30日（金）
- ご記入いただく個人情報、本事業の目的以外には利用いたしません。
- ミーティングの様子は、市議会公式ウェブサイト、市議会だより、SNS等に公開していきますので、参加生徒の氏名及び顔写真（映像含む）がマスコミ媒体等に掲載されます。そのことをご了承いただいたうえでお申し込みください。

《10.その他》

- 当日の服装は各学校の制服。
- 筆記用具等をご持参ください。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、やむを得ず中止する場合があります。

《11.問い合わせ先》

安城市議会事務局議事課（担当：仲道）

E-mail giji@city.anjo.lg.jp

電 話 0566-71-2252

F A X 0566-77-8200

【議席表】

		石川 郁子	神谷 和明
--	--	-------	-------

森下 祥子	守口 晶治	稲垣 退三	宗 文代
-------	-------	-------	------

辻山 秀文	今原 康德	野場 慶徳	永田 敦史
-------	-------	-------	-------

	杉山 朗 未来ミーティング WGサブリーダー	深津 修 副議長	二村 守 未来ミーティング WGリーダー
--	------------------------------	-------------	----------------------------

議会事務局	大屋 明仁 議長	
-------	----------------	--

(演壇)

白谷 隆子	塚原 信一		
-------	-------	--	--

法福 洋子	石川 博雄	鈴木 浩	白山 松美
-------	-------	------	-------

寺沢 正嗣 (A)サブ	石川 翼 (B)サブ	近藤 之雄 (C)サブ	沓名 喜代治 (D)サブ
----------------	---------------	----------------	-----------------

松本 佳栄 (A)ファシリテーター	神谷 清隆 (B)ファシリテーター	石川 博英 (C)ファシリテーター	松尾 学樹 (D)ファシリテーター
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

	6 大平 桜羽 (安城農林)
--	-------------------

5 岩間 朱華 (安城)	4 伊藤 優衣子 (光ヶ丘)
-----------------	-------------------

14 鈴木 大生 (安城東)	13 杉浦 瑠生 (安城)
-------------------	------------------

12 杉浦 杏 (尾北)	11 澁谷 萌々華 (さくら学園)
-----------------	----------------------

22 嶺木 菜夏 (安城)	21 南 芽衣乃 (さくら学園)
------------------	---------------------

20 兵藤 侑己 (安城)	19 花田 有菜 (安城農林)
------------------	--------------------

	27 吉本 りん (安城南)
--	-------------------

質問席

--	--

26 吉見 安未 (安城東)	25 横山 萌那 (安城学園)
-------------------	--------------------

3 磯貝 真珠渚 (安城東)	2 石川 里奈 (安城学園)
-------------------	-------------------

10 坂口 華 (安城学園)	9 神本 宙志 (さくら学園)
-------------------	--------------------

18 手崎 晴菜 (知立東)	17 鶴田 和士 (安城南)
-------------------	-------------------

24 山本 麻椰 (安城学園)	23 毛受 茉子 (安城農林)
--------------------	--------------------

1 青山 遥香 (安城東)	
------------------	--

8 大山 颯汰 (安城南)	7 大村 優空 (安城農林)
------------------	-------------------

16 主税 凜 (さくら学園)	15 竹内 陽乃華 (安城南)
--------------------	--------------------

※議席は50音順
※学校名は略称

令和 2 年度

あんじょう未来ミーティング
～W i t h 高校生～

編集 安城市議会事務局

発行日 令和 3 年 2 月 1 6 日

